

2018年「自治体病院に働く職員の労働実態アンケート」

中間報告

1 目的

自治体病院（診療所含む）に働く職員の労働実態の厳しさは、いっそう深刻なものになっています。その労働実態や夜勤形態、健康実態を明らかにし、勤務労働条件の改善や働き続けられる職場、地域の医療を守る運動を大きく前進させるために行います。

また、この取り組みを実践する中で、自治労連組織の拡大にもつなげます。

2 調査期間

2018年9月から10月末とし、今回の中間報告は11月9日までに自治労連本部に到着したのものについて反映しました。

（最終報告は、2018年12月7日集約分までとします。）

3 集計方法

中間報告は、単純集計とし全体分を報告します。

なお、同時に、前回発表した2014年の「自治体病院に働く看護職員の労働実態アンケート」の結果と比較し、この4年間で看護職員の労働実態はどう変化したのか分析するために、今回の単純集計の看護職員部分を抜き出して、2014年のアンケートと比較したものを報告します。

（最終報告では職種別などクロス集計結果も含め発表します）



日本自治体労働組合総連合

（自治労連）

はじめに

自治労連は、地域住民のいのちと健康を守るため住民との共同を広げ運動を前進させてきました。その結果、自治体病院への交付税の増額や、医師不足対策として、医学部の定員を増やすなど大きな成果を得ています。

しかし、いま「地域医療構想」の名のもと、全国いたるところで入院ベッドの削減、医療機関の再編・統廃合などの動きが広がっています。なかでも公立病院は、「地域医療構想」と「新公立病院改革ガイドライン」の具体化のために、公立病院の統廃合、入院ベッドの機能転換や削減、看護師削減の動きが起きています。地方交付税などによる財政誘導政策などの「アメとムチ」も開始され、これまで以上に公立病院の経営形態の見直しや統廃合が進んできています。

そのような中、医師・看護師不足もさらに深刻化し、医療従事者の確保、休日・夜間の医療体制の整備、医療の高度化・患者の高齢化に対応できる体制の確立など、地域医療を確保・充実するうえで緊急に解決を求められる多くの課題をかかえています。同時に看護師の労働実態の厳しさも、深刻さを増してきています。

前回の「2014 看護職員の労働実態アンケート」から4年が経過し、今回の調査では対象を「看護職員」から「自治体病院職員」に拡大しました。地域医療や災害時医療等の政策医療をより充実させるためにも、自治体病院で働く職員全体の労働実態をつかみ、その労働条件の改善・向上することは、とても重要です。

4年ぶりとなる今回のアンケートの実施にあたり、独自の項目を加えてアンケートをおこなった単組や、得られた結果の独自の分析に取り組んだ病院労組では、一刻も放置できない労働実態や切実な声をただちに病院側との交渉の争点にまとめ、組合員参加での運動に反映しています。また、組合員以外の職員からも多くの回答が寄せられ、組織拡大・強化につながる議論をすすめる病院労組もでてきています。

今後、アンケート結果を活用し、自治体病院で働く職員の労働条件の向上や組織拡大、地域医療・政策医療を充実させる運動を前進させましょう。

◆自治体病院に働く職員の労働実態アンケート 中間報告の概要

P.6～

この中間報告の概要は、自治労連が2018年9月～10月に実施した「自治体病院に働く職員の労働実態アンケート」9925人（11月9日までの到着分）の集計結果（単純集計）に基づく報告です。

問1の「あなたの職種」の問いに対し、回答者の75.6%が看護職員という結果でした。つまり、全体の単純集計の結果としては、回答者の7割以上が看護職員であったということとして、以下の結果をみる必要があります。

問4の「現在の病院等でのあなたの勤続年数」では、「15～19年」が7.6%となっており、その前後の「10年～14年」が13.2%、「20年～29年」が14.5%となっているのに対し、顕著に約1/2程度に落ち込んでいます。

問8「1年前に比べ仕事量はどうか」では、62.8%の人が1年前より仕事量が増えたと答え、問9の「今年9月の超過勤務」と、問10の「今年9月の超過勤務のうちサービス残業は」の問いに対しても、超過勤務を行った8752名（9925名－1173名）の内、7217名（9925名－2708名）が不払い残業（サービス残業）を強いられていることがわかります。

問11「昨年1年間の有給休暇は何日取れましたか」では、「なし」も含めて年間に「10日以内」の取得者が58%となっています。

問16「セクハラを受けたことがある人」は18%で、その内、患者からが55%、問17の「パワハラを受けたことがある人」は39.5%で、上司からが57.9%となっています。

問18「あなたは普段の仕事で心身に疲労を感じますか」では、「毎日非常に疲れる」と「たまに非常に疲れる」合わせて69.9%。

問19「この1年間で病院・医院に受診した」人が77.8%（7721名）。そのうちの27.8%が風邪で受診しています。

問20の「健康で働くうえで何を改善すべき」の問いには65.6%（6,508名）が「人員の拡充」と答え、38.5%が「業務量の削減」、37.0%が「年次有給休暇の取得促進」と答えています。業務量に比べ人員が少なく年次有給休暇も取得できずに働くことで体調を崩していることがわかります。

問21「あなたが常用している薬」では、31.2%（3,093名）の人が「鎮痛剤」を常用して痛みをこらえて働いています。また、体調を崩さないようにとの思いなのか21.1%（2,094名）の人が「栄養・疲労回復ドリンク」を常用していると答えています。

問22「最近の症状」では、「身体がだるい」56.5%（5,604名）、「目が疲れる」43.8%、「腰痛」38.3%と身体的症状だけでなく、「イライラする」31.2%、「ゆううつ気分がする」28.7%など精神的な症状も多くの方が答えています。

問23の「あなたの疲れの回復具合」では、「翌日に残ることが多い」45.5%、「休日でも回復せずにいつも疲れている」が24.2%とかなり疲弊した状態であることがわかります。

問24「仕事上ストレスを強く感じるのは」では、43.2%（4,290名）の方が「仕事の量」と答えています。いかに業務量が多いかが伺えます。

問25の「現在の仕事にやりがいを感じていますか」では、「感じている」28.5%、「少し感じる」50.2%と、合わせて78.7%の人がやりがいを感じています。

しかし、問28の「あなたは仕事を辞めたいと思いますか」では、「いつも思う」20.3%、「ときどき思う」52.0%合わせて72.3%の人が辞めたいと思うと答えています。「やりがいを感じているのに辞めたいと思う」結果となっています。

問28：②の「仕事を辞めたい理由は」では46.4%が「人員不足で仕事がきつい」、「賃金

が安い」30.3%、「職場の人間関係」28.7%、「休みが取れない」28.1%と答えています。

感じているやりがいに応えられるように、業務量に見合った人員の確保と賃金アップ、年次有給休暇等の休暇の取得満足度の向上で、健康で働き続けられる職場を求める結果となっています。

●自治体病院に働く看護職員の労働実態は4年前とどう変化したか

P.27～

2014年のアンケート回収数6136名。2018年の回収数7499名。の単純集計の比較を報告します。

問3「あなたの年齢」では、4年の間に30歳代が6.7%減り、50歳代以上が6.2%増えています。30歳代の割合の減少は、子育て期と重なることから、自治体病院では子育てをしながら働き続けることの難しさを感じられます。また、割合が増加している50歳代以上が順次定年等で退職していくことが想定され、看護力の継承に不安を感じる結果となっています。

問4の「現在の病院での勤続年数」の「3年未満」では、2014年28.9%が2018年20.2%と8.7%も減っています。新規での看護師のなり手が減ってきている可能性と就職してもすぐに辞めていくのではないかと考えられます。また、2014年、2018年ともに「15年～19年」が10%満たない値となっていますが、「10年～14年」の分類でも徐々に減ってきていることから、中堅層として働き続け難い労働実態となっているのではと考えられます。

問7の「あなたの勤務形態」では、2014年「3交代勤務」51.5%、2018年36.8%で、14.7%の減少。「12時間夜勤」が7.0%増加。「16時間夜勤」は0.8%のみ減少。このことから、12時間夜勤への移行は、長時間夜勤の16時間からの移行ではなく、8時間夜勤からの移行と考えられます。16時間という長時間夜勤の解消にならなかったばかりか、逆に8時間夜勤を12時間夜勤+ロング日勤+遅出勤務ないし4週8休制の崩れにつながってしまったと言えます。

問9「今年9月の超過勤務」では、2014年に比べ、「超過勤務なし」が増え、「20時間未満の超過勤務」も減ってきている。しかし、「20～29時間」「30～39時間」「40～49時間」「50時間以上」でも増加傾向にあり、徐々に長時間労働になってきているのではないかと考えられます。

問11の「昨年1年間の有給休暇は何日取れましたか」では、2014年に比べ取得日数は上がってきています。しかし、「なし」6.0%、「1～4日」20.0%、「5～9日」32.7%と、10日未満が58.7%となっており、政府が目標値としている75%取得に遠い結果となっています。

問13の3交代勤務者への設問で、問13-2「準夜勤ないし深夜勤を終了してからの勤務間隔(インターバル)」では、2014年では、「12時間未満」89.6%でしたが2018年では84.6%

減少してきていますが、「8時間未満」がまだまだ60%以上という過酷な勤務となっています。

問14-3の2交代勤務者への「16時間・12時間夜勤を終了してからの勤務間隔（インターバル）」の設問でも8時間未満で次の勤務についた人が10.1%あり、長時間夜勤後のインターバル8時間未満は、あまりにも苛酷な勤務で早急に改善する必要があります。

また、問13-3「3交代夜勤での拘束時間」についても、2014年では「12.5時間以内」が95.4%であったのに対し、2018年では86.4%と減少、「12.5時間～16時間」についても6.5%増の10.0%、「16時間以上」も4.3%増の5.4%となっており、拘束時間が長時間化してきていることがわかります。

問15の「メンタル障害で休んだり治療を受けている職員は」では、「いる」と答えた人は、2014年33.6%、2018年でも33.1%となっています。

問16の「セクハラを受けたことがありますか」の問いに対し、2014年の調査では21.2%、2018年には20.4%の人が「受けたことがある」と答えています。

問17の「パワハラを受けたことがありますか」の問いについては、2014年の調査では38.6%、2018年には42.8%の人が「受けたことがある」と答え、若干増加傾向になっています。

問18の「心身の疲労を感じますか」では、2014年「毎日非常に疲れる」42.3%、「たまに非常に疲れる」32.4%。2018年「毎日非常に疲れる」44.0%、「たまに非常に疲れる」31.3%と、ほぼ同様の結果となり、毎日の苛酷な労働実態の改善が遅々とすすんでいない結果となっています。

問20の「健康で働くうえで何を改善すべきか」では、「人員の拡充」と69.9%（7494名中5240名）の人が答えています。続いて「業務量の削減」42.6%、「年次有給休暇の取得促進」39.4%となっています。業務量に対して人員の不十分さと、そのために有給休暇も取得できずに体調を崩していく労働実態の改善が求められています。

問21の「常用している薬」では、「ない」が2014年2,428名、2018年2,662名とともに1位ですが、鎮痛剤の常用が2018年では34.7%（2,598名）と、2014年に比べて（27.3%）に比べて7.4%多くなり、「常用薬がない」を追い越す勢いとなっています。また、「栄養・疲労回復ドリンク」も2014年12.1%が2018年23.3%と倍近くまで増加しています。鎮痛剤で痛みをこらえながら、ドリンクで疲れをごまかして勤務している状況がわかる結果となっています。

問22の「最近、次の症状がありますか」では、回答人数7,494名中、「身体がだるい」60.2%（4,508名）、「目が疲れる」43.8%（3,282名）、「腰痛」41.0%（3,075名）、「いつも眠い」37.7%、「頭痛」35.0%、「イライラする」33.5%、「ゆううつな気分がする」30.7%の順となっています。身体的のみならず精神的な症状を訴える人も多い状況です。

問23「あなたの疲れの回復具合」でも、2014年2018年ともに、かなり身体的・精神的に苛酷な労働実態の結果となっています。

問 24 の「仕事上ストレスを強く感じるのは」では、「仕事の量」と答えた人が 46.5% (3,484 名) を占めています。この回答率は、2014 年調査の実績や 2018 年の他の項目の割合と比較しても、かなり高くなっています。まず、業務量の多さを軽減することが重要な結果となっています。

問 25 の「やりがいを感じていますか」では、2014 年 2018 年ともに約 75% の人が「やりがいを感じている」と答えています。

しかし、問 28 の「仕事を辞めたいと思いますか」では、2014 年 2018 年ともに約 80% 近い人が「辞めたいと思う」と答えています。

問 28 : ①②の「辞めたいと思う主な理由」では、「人員不足で仕事がきつい」が断トツとなっており、辞めたいと答えた 5,881 名の内、50.6% にあたる 2,975 名がそう答えています。続いて「賃金が安い」30.6%、「休みが取れない」30.0%となっています。

問 27 の「十分な看護が提供できていますか」では、「わからない」が 2014 年 42.5%、2018 年 44.9%あり、仕事に対して自信が持てない状況があらわれています。

最後に、2014 年と比較して、労働実態、労働環境、健康状態、仕事に対する思いなど、改善出来ている状況も感じられるものの、厳しさが増している部分も見られ、相対的には「やりがいがあるが辞めたい」という状況を変えられていないのが現状といえます。

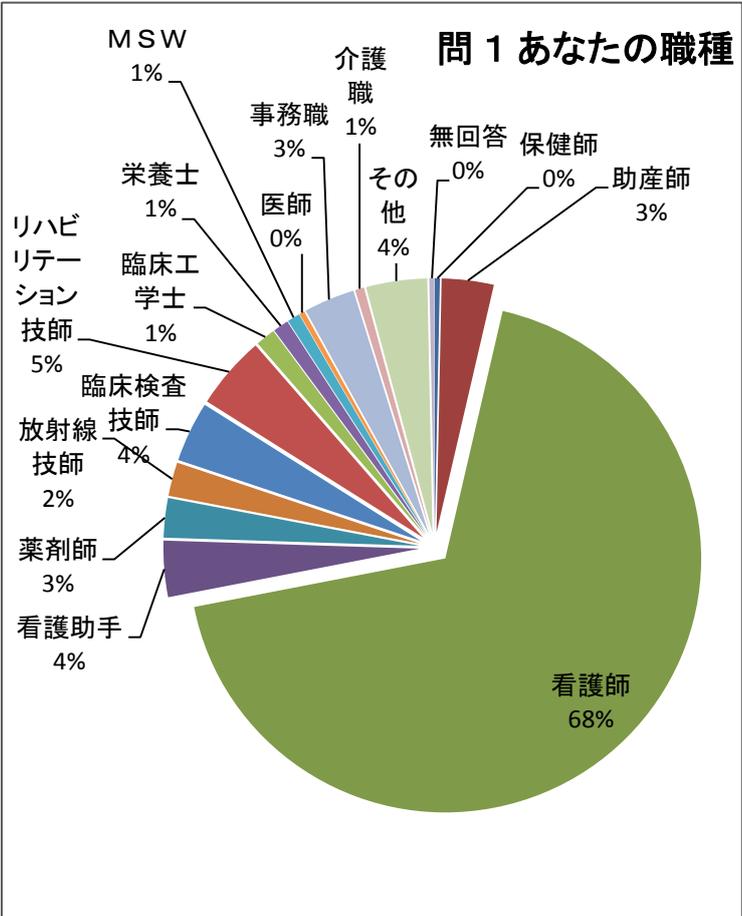
今回の看護職員の労働実態アンケートの結果から、「業務量に見合っていない人員不足の解消」「賃金の引き上げ」「年次有給休暇の取得満足度アップ」の 3 点の改善要求の実現が働き続けられる職場づくりに求められています。今こそ、要求を高く掲げ精力的に運動をすすめましょう。

以上

◆自治体病院に働く職員の労働実態アンケート 単純集計◆

問 1 あなたの職種

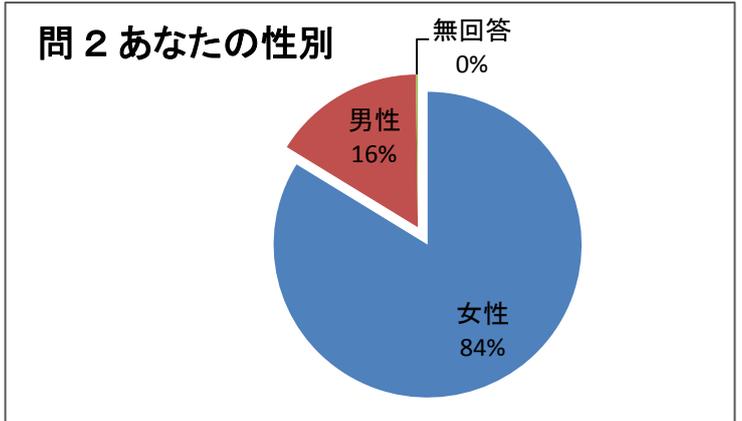
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	保健師	32	0.3%
2	助産師	326	3.3%
3	看護師	6,786	68.4%
4	看護助手	355	3.6%
5	薬剤師	249	2.5%
6	放射線技師	213	2.1%
7	臨床検査技師	381	3.8%
8	リハビリテーション技師	462	4.7%
9	臨床工学士	124	1.2%
10	栄養士	98	1.0%
11	MSW	80	0.8%
12	医師	33	0.3%
13	事務職	320	3.2%
14	介護職	57	0.6%
15	その他	383	3.9%
	無回答	32	0.3%
	合計	9,925	100.0%



自治体病院および自治体診療所を中心にアンケートが実施されており、回答した職種として、68.4%が看護師、続いてリハビリテーション技師4.7%、臨床検査技師3.8%となっていて、看護師の回答者が70%近い結果となっている。

問 2 あなたの性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	女性	8,317	83.8%
2	男性	1,587	16.0%
	無回答	21	0.2%
	合計	9,925	100.0%

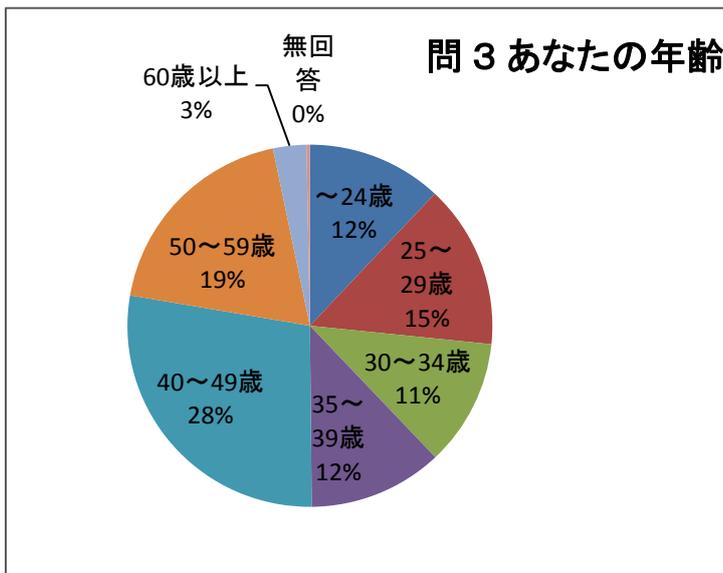


83.8%が女性であり、医療職場の多くが女性によって担われている。

問 3 あなたの年齢

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	～24歳	1,191	12.0%
2	25～29歳	1,452	14.6%
3	30～34歳	1,122	11.3%
4	35～39歳	1,182	11.9%
5	40～49歳	2,763	27.8%
6	50～59歳	1,892	19.1%
7	60歳以上	293	3.0%
	無回答	30	0.3%
	合計	9,925	100.0%

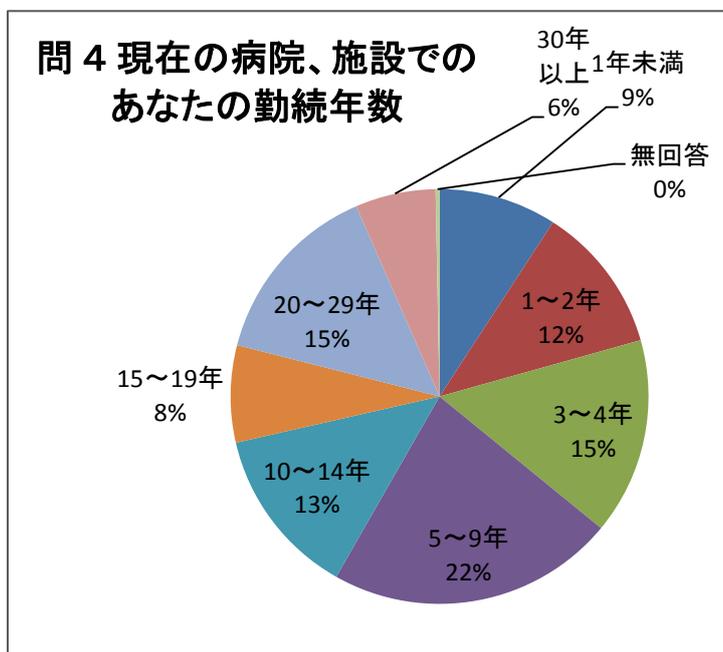
40歳以上で49.9%となっている。20歳代26.6%、30歳代23.2%となっている。



問 4 現在の病院、施設でのあなたの勤続年数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年未満	907	9.1%
2	1～2年	1,140	11.5%
3	3～4年	1,521	15.3%
4	5～9年	2,211	22.3%
5	10～14年	1,309	13.2%
6	15～19年	751	7.6%
7	20～29年	1,438	14.5%
8	30年以上	618	6.2%
	無回答	30	0.3%
	合計	9,925	100.0%

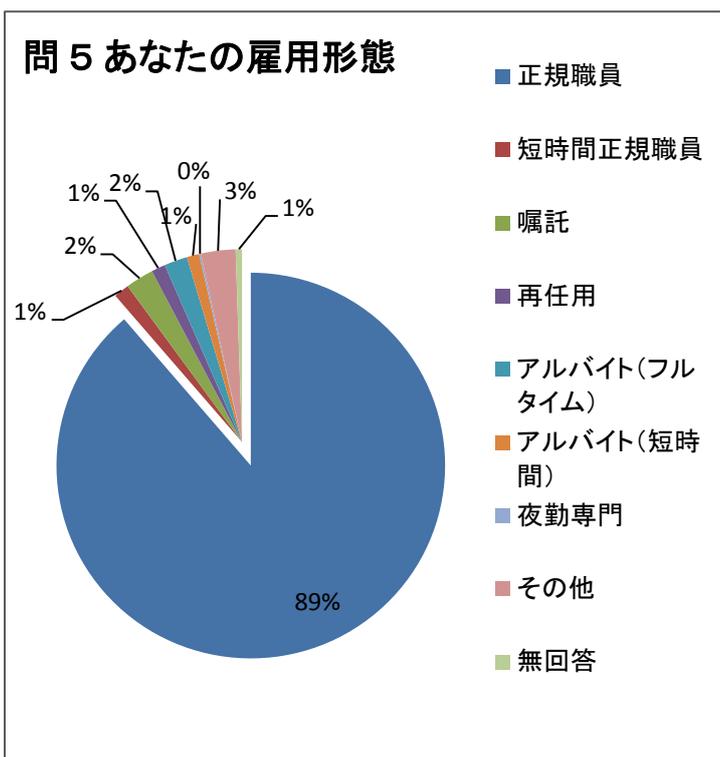
5～9年が22.3%で最も多く、続いて3～4年が15.3%、20～29年が14.5%となっている。
15～19年が7.6%、30年以上が6.2%と非常に低くなっている。



問 5 あなたの雇用形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	正規職員	8,810	88.8%
2	短時間正規職員	127	1.3%
3	嘱託	233	2.3%
4	再任用	116	1.2%
5	アルバイト(フルタイム)	191	1.9%
6	アルバイト(短時間)	103	1.0%
7	夜勤専門	14	0.1%
8	その他	286	2.9%
	無回答	52	0.5%
	合計	9,925	100.0%

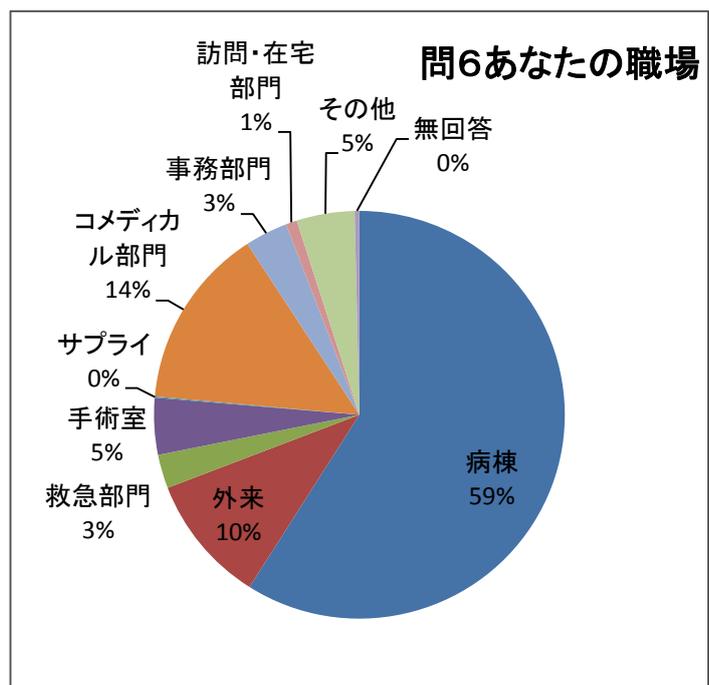
正規職員が88.8%をしめている。
非正規職員の組合員が少ないことが考えられる。



問 6 あなたの職場

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病棟	5,903	59.5%
2	外来	1,019	10.3%
3	救急部門	268	2.7%
4	手術室	450	4.5%
5	サプライ	10	0.1%
6	コメディカル部門	1,439	14.5%
7	事務部門	337	3.4%
8	訪問・在宅部門	88	0.9%
9	その他	457	4.6%
	無回答	37	0.4%
	合計	9,925	100.0%

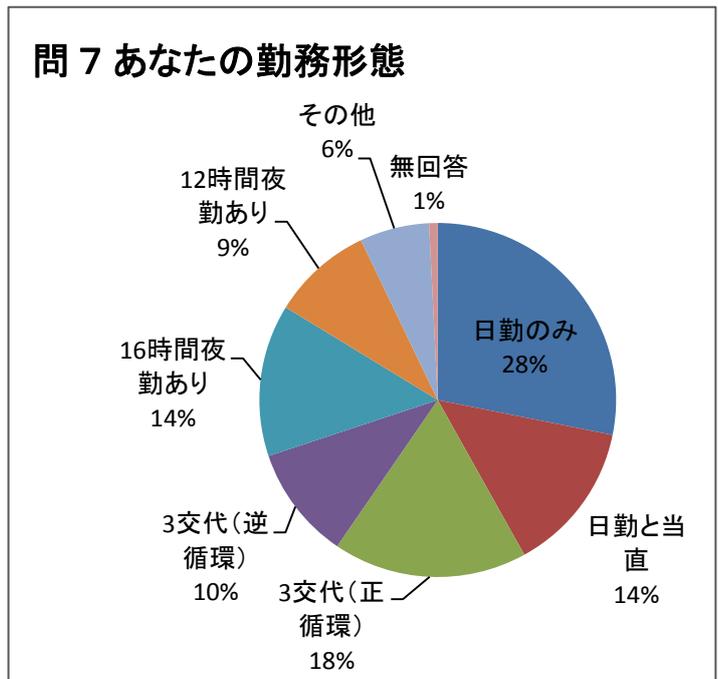
病棟59.5%、続いてコメディカル部門14.5%
外来10.3%の順となっている。



問 7 あなたの勤務形態

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	日勤のみ	2,824	28.5%
2	日勤と当直	1,380	13.9%
3	3交代(正循環)	1,765	17.8%
4	3交代(逆循環)	1,037	10.4%
5	16時間夜勤あり	1,392	14.0%
6	12時間夜勤あり	918	9.2%
7	その他	632	6.4%
	無回答	78	0.8%
	合計	9,925	100.0%

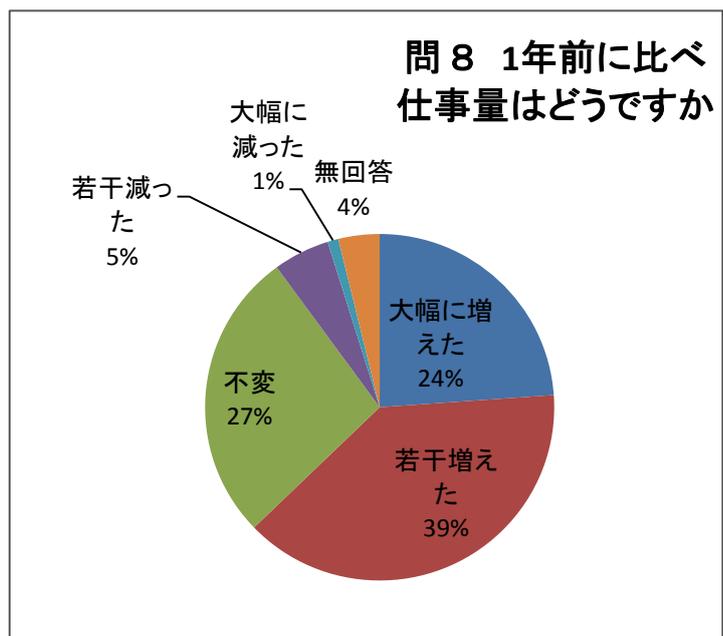
日勤のみが28.5%、続いて3交代(正循環)が17.8%、16時間夜勤あり14.0%となっている。



問 8 1年前に比べ仕事量はどうですか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大幅に増えた	2,370	23.9%
2	若干増えた	3,861	38.9%
3	不変	2,698	27.2%
4	若干減った	518	5.2%
5	大幅に減った	100	1.0%
	無回答	378	3.8%
	合計	9,925	100.0%

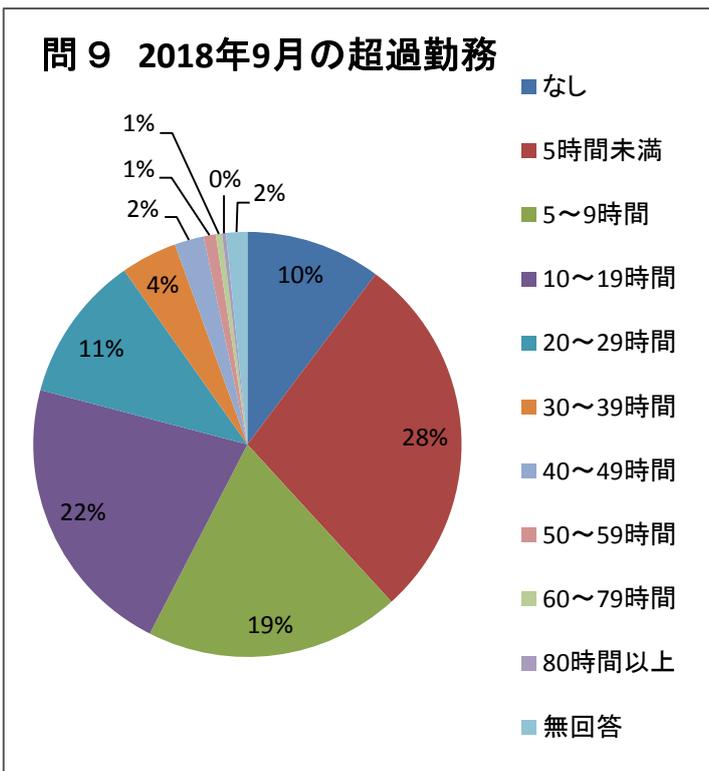
大幅に増えた23.9%、若干増えた38.9%と、増えたと回答したものが62.8%。不変と回答したものが27.2%となっている。



問 9 2018年9月の超過勤務

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	なし	1,014	10.2%
2	5時間未満	2,783	28.0%
3	5～9時間	1,913	19.3%
4	10～19時間	2,143	21.6%
5	20～29時間	1,104	11.1%
6	30～39時間	422	4.3%
7	40～49時間	220	2.2%
8	50～59時間	91	0.9%
9	60～79時間	47	0.5%
10	80時間以上	29	0.3%
	無回答	159	1.6%
	合計	9,925	100.0%

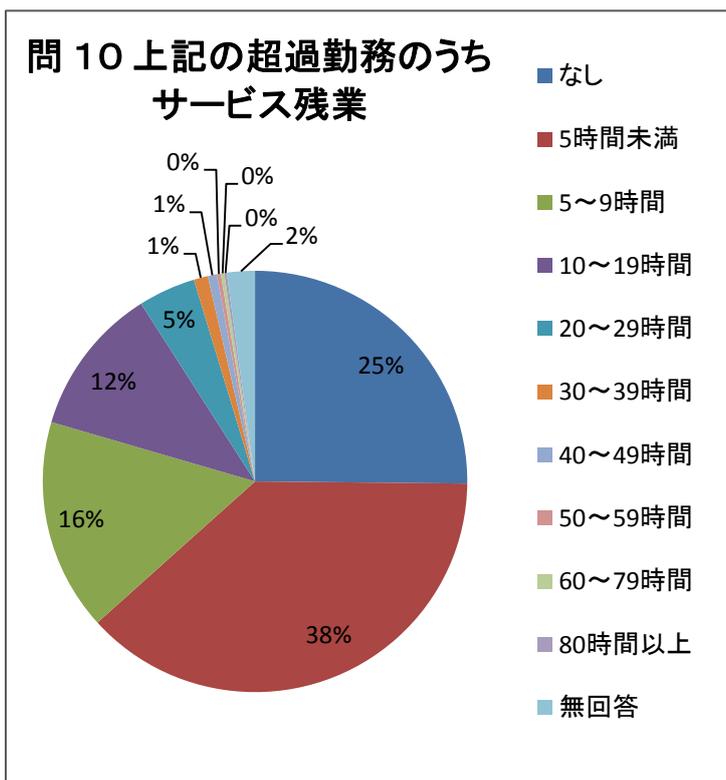
5時間未満28.0%、続いて10～19時間21.6%、5～9時間19.3%、20～29時間11.1%、なしが10.2%となっているが、50時間以上が1.7%ある。



問 10 上記の超過勤務のうちサービス残業

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	なし	2,497	25.2%
2	5時間未満	3,787	38.2%
3	5～9時間	1,611	16.2%
4	10～19時間	1,135	11.4%
5	20～29時間	433	4.4%
6	30～39時間	107	1.1%
7	40～49時間	68	0.7%
8	50～59時間	31	0.3%
9	60～79時間	26	0.3%
10	80時間以上	19	0.2%
	無回答	211	2.1%
	合計	9,925	100.0%

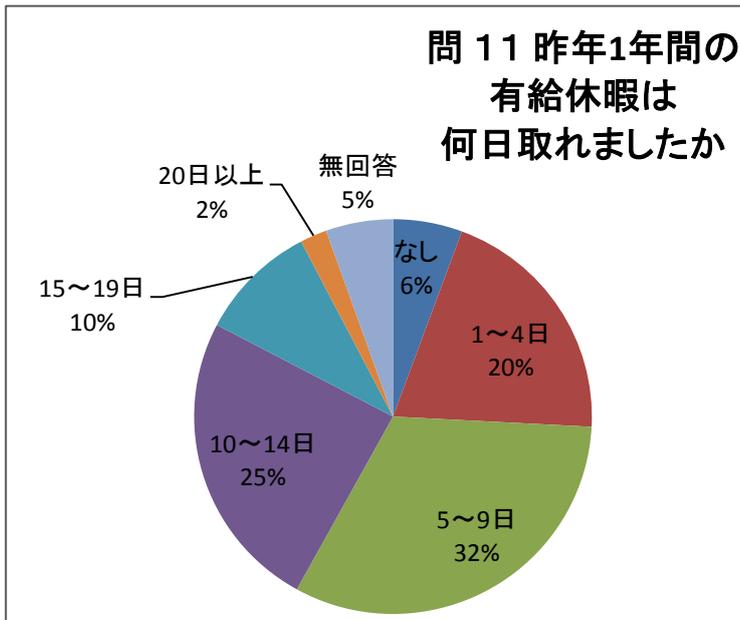
5時間未満38.2%、なし25.2%、5～9時間16.2%、10～19時間が11.4%となっているが、サービス残業でも50時間以上が0.8%ある。



問 11 昨年1年間の有給休暇は何日取れましたか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	なし	559	5.6%
2	1～4日	2,004	20.2%
3	5～9日	3,197	32.2%
4	10～14日	2,446	24.6%
5	15～19日	960	9.7%
6	20日以上	217	2.2%
	無回答	542	5.5%
	合計	9,925	100.0%

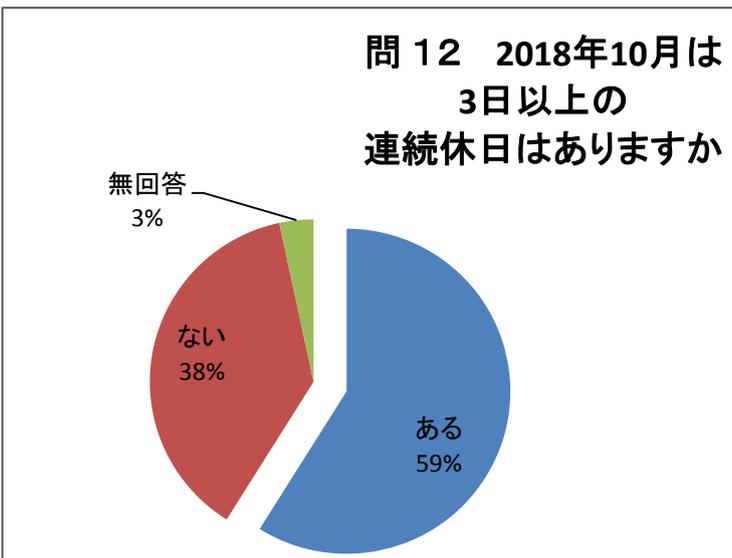
5～9日32.2%、10～14日24.6%、
1～4日20.2%となっている。
なしの5.6%を含めて年間に
10日以内の取得者が58%となっている。



問 12 2018年10月は3日以上連続休日はありますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	5,847	58.9%
2	ない	3,744	37.7%
	無回答	334	3.4%
	合計	9,925	100.0%

あるが58.9%、ないが37.7%となっている。

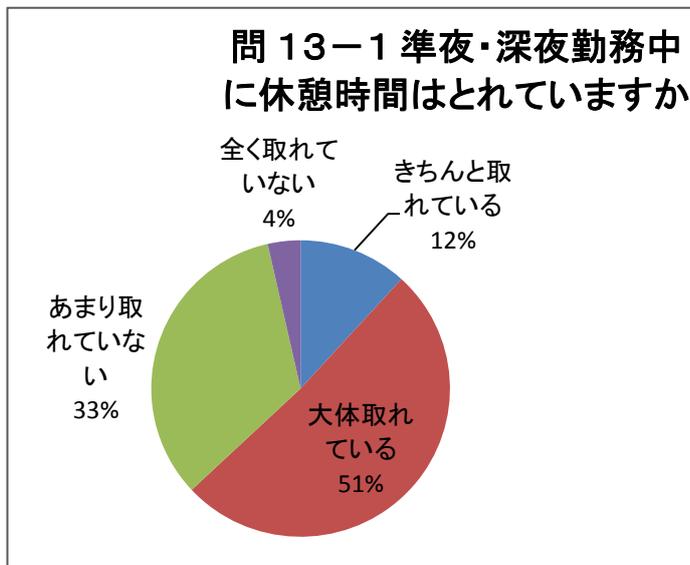


問13は、3交代勤務の方のみへの質問です。

問 13-1 準夜・深夜勤務中に休憩時間はとれていますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	きちんと取れている	359	11.8%
2	大体取れている	1,560	51.2%
3	あまり取れていない	1,018	33.4%
4	全く取れていない	108	3.5%
	無回答		0.0%
	合計	3,045	100.0%

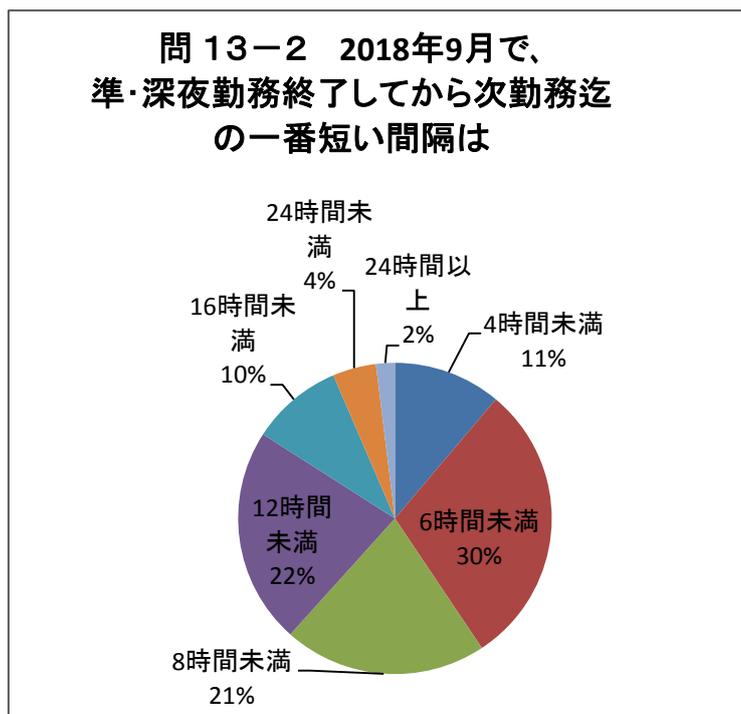
大体取れている51.2%、きちんと取れている11.8%と合わせて63.0%が取れている。
あまり取れていない33.4%、全く取れていない3.5%と合わせて36.9%が取れていないと、なっている。



問 13-2 2018年9月で、準・深夜勤務終了してから次勤務迄の一番短い間隔は

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4時間未満	338	11.1%
2	6時間未満	896	29.5%
3	8時間未満	637	21.0%
4	12時間未満	682	22.5%
5	16時間未満	288	9.5%
6	24時間未満	136	4.5%
7	24時間以上	59	1.9%
	不明		0.0%
	合計	3,036	100.0%

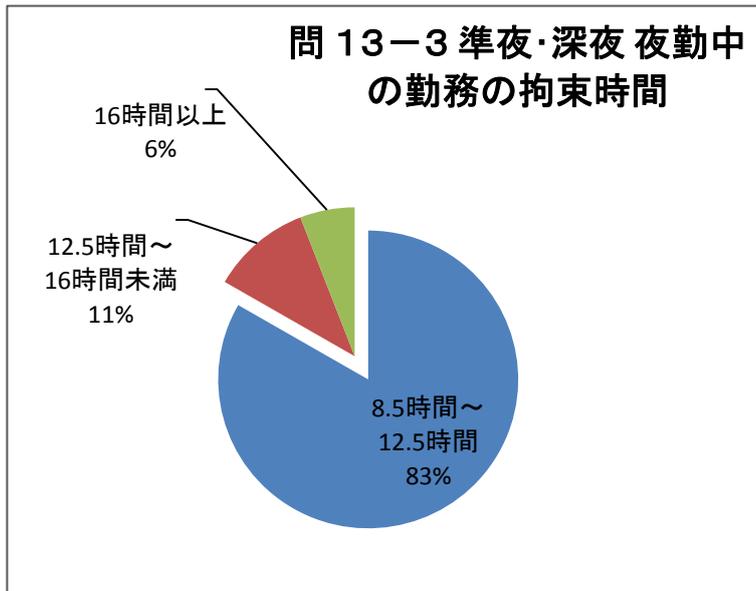
6時間未満29.5%、12時間未満22.5%、8時間未満21.0%、4時間未満11.1%と、12時間未満で、次の勤務についているのが84.1%、12時間以上では15.9%となっている。



問 13-3 準夜・深夜 夜勤中の勤務の拘束時間

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	8.5時間～12.5時間	2,517	83.3%
2	12.5時間～16時間未満	326	10.8%
3	16時間以上	178	5.9%
	不明		0.0%
	合計	3,021	100.0%

8.5時間～12.5時間が83.3%と最も多かったが、16時間以上が5.9%あった。

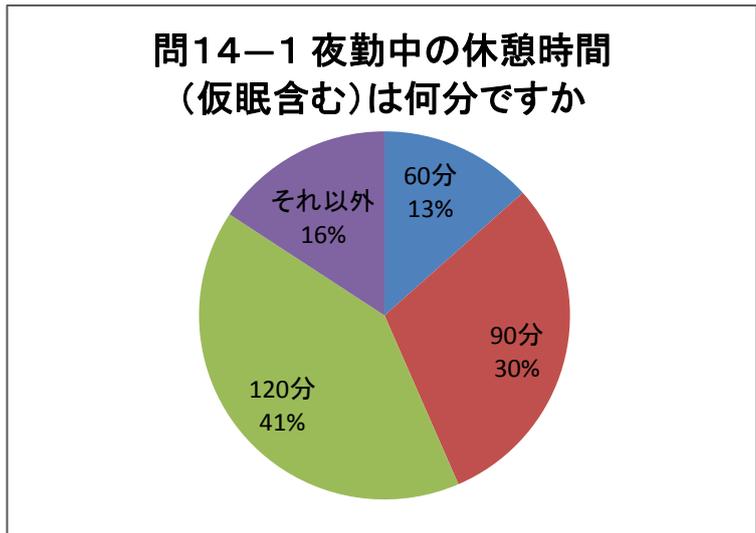


問14は、16時間あり、または12時間夜勤ありの方のみへの質問です。

問 14-1 夜勤中の休憩時間(仮眠含む)は何分ですか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	60分	387	13.4%
2	90分	869	30.1%
3	120分	1,178	40.8%
4	それ以外	455	15.7%
	不明		0.0%
	合計	2,889	100.0%

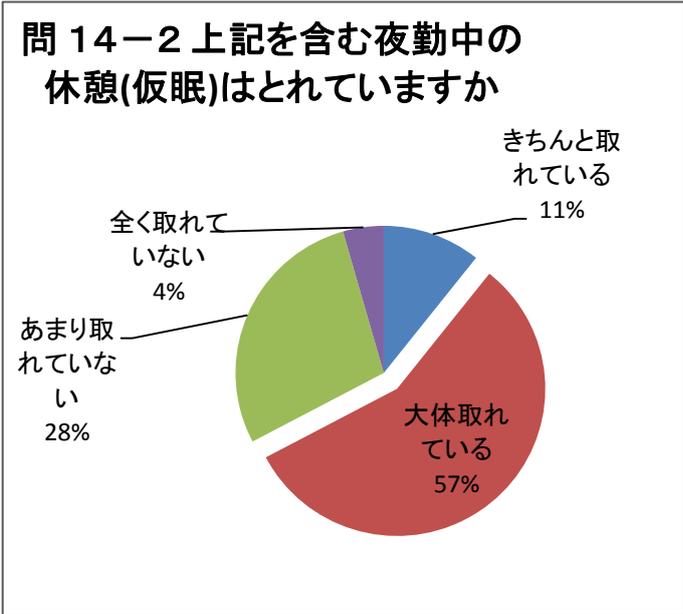
120分40.8%、90分30.1%、60分13.4%となっている。



問 14-2 上記を含む夜勤中の休憩(仮眠)はとれていますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	きちんと取れている	311	10.7%
2	大体取れている	1,645	56.6%
3	あまり取れていない	822	28.3%
4	全く取れていない	129	4.4%
	不明		0.0%
	合計	2,907	100.0%

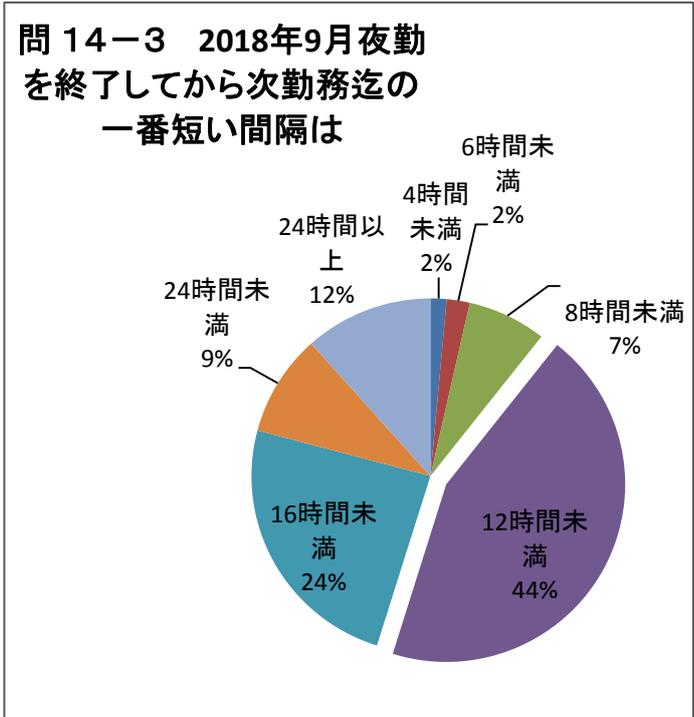
大体取れている56.6%、きちんと取れている10.7%と合わせて67.3%が取れている。
 あまり取れていない28.3%、全く取れていない4.4%と合わせて32.7%が取れていないとなっている。



問 14-3 2018年9月夜勤終了してから次勤務迄の一番短い間隔は

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4時間未満	42	1.5%
2	6時間未満	60	2.1%
3	8時間未満	205	7.1%
4	12時間未満	1,275	44.2%
5	16時間未満	701	24.3%
6	24時間未満	267	9.3%
7	24時間以上	335	11.6%
	不明		0.0%
	合計	2,885	100.0%

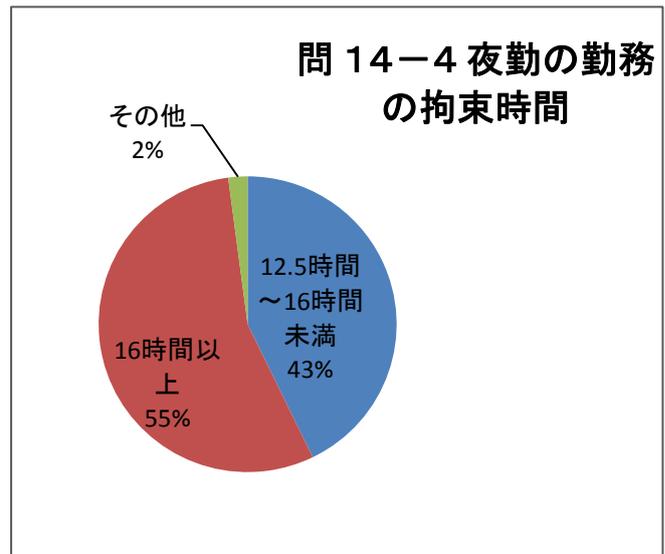
12時間未満44.2%、8時間未満7.1%、6時間未満2.1%、4時間未満1.5%で、12時間未満で次の勤務についたのが54.9%。
 16時間未満24.3%、24時間未満9.3%、24時間以上11.6%で、12時間以上で次の勤務についたのが45.2%となっている。



問 14-4 夜勤の勤務の拘束時間

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	12.5時間～16時間未満	1,230	42.8%
2	16時間以上	1,584	55.1%
3	その他	60	2.1%
	不明		0.0%
	合計	2,874	100.0%

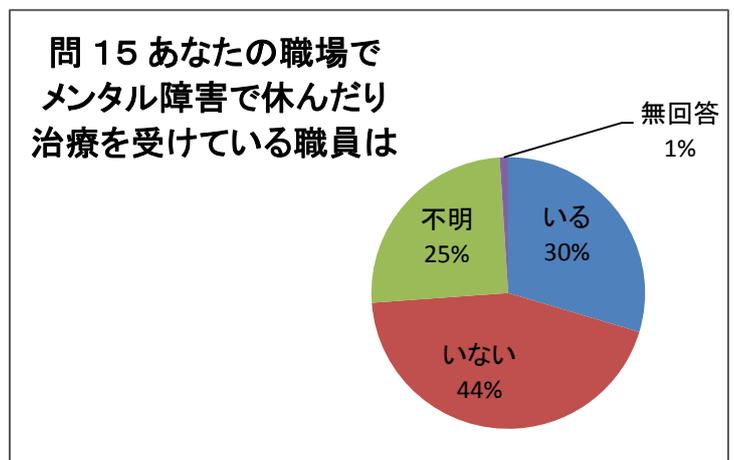
16時間以上が55.1%、12.5時間～16時間未満42.8%となっている。



問 15 あなたの職場でメンタル障害で休んだり治療を受けている職員は

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	いる	2,941	29.6%
2	いない	4,389	44.2%
3	不明	2,495	25.1%
	無回答	100	1.0%
	合計	9,925	100.0%

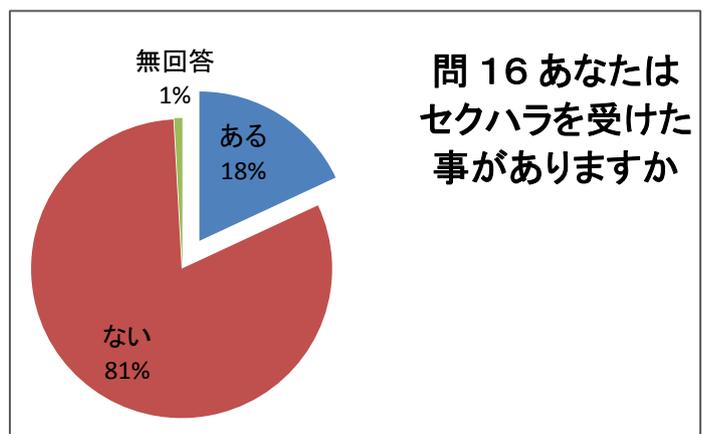
いない44.2%、いる29.6%となっている。



問 16 あなたはセクハラを受けた事がありますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	1,790	18.0%
2	ない	8,049	81.1%
	無回答	86	0.9%
	合計	9,925	100.0%

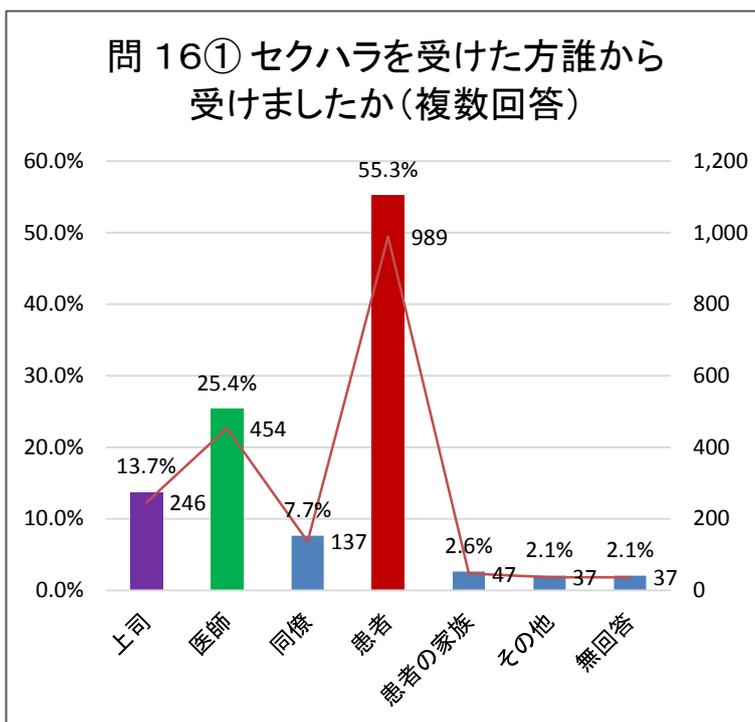
18.0%(1790名)の方が、あると答えている。



問 16① セクハラを受けた方誰から受けましたか(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	上司	246	13.7%
2	医師	454	25.4%
3	同僚	137	7.7%
4	患者	989	55.3%
5	患者の家族	47	2.6%
6	その他	37	2.1%
	無回答	37	2.1%
	回答人数(無回答者含む)	1,790	

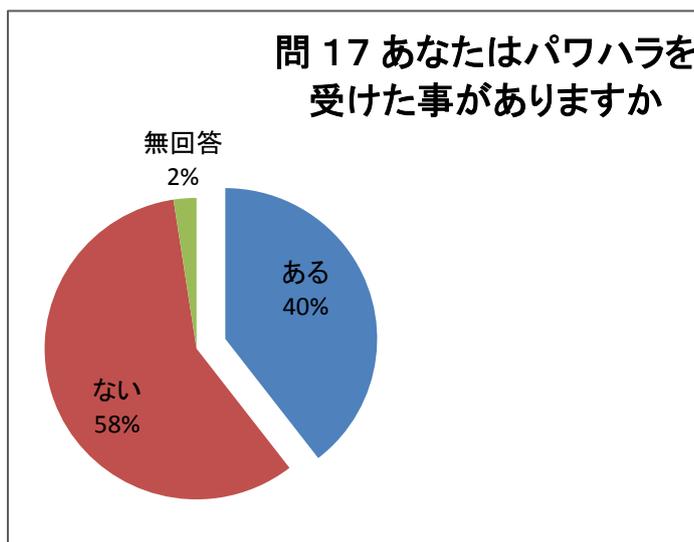
あると答えた1790名中、
患者55.3%(989名)、
医師25.4%(454名)、
上司13.7%(246名)と答えている。



問 17 あなたはパワハラを受けた事がありますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	3,922	39.5%
2	ない	5,762	58.1%
	無回答	241	2.4%
	合計	9,925	100.0%

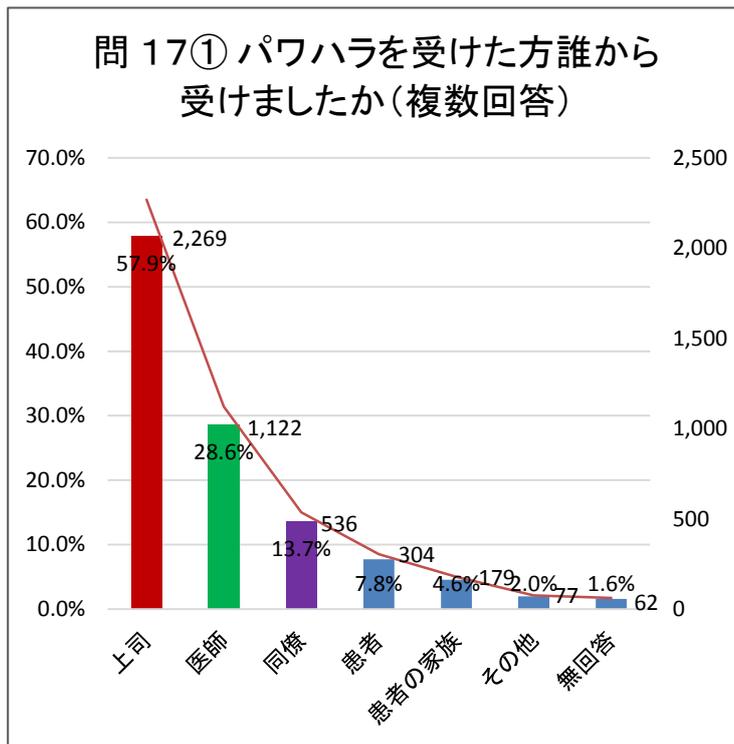
39.5%(3922名)の方が、あると答えている。



問 17① パワハラを受けた方誰から受けましたか(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	上司	2,269	57.9%
2	医師	1,122	28.6%
3	同僚	536	13.7%
4	患者	304	7.8%
5	患者の家族	179	4.6%
6	その他	77	2.0%
	無回答	62	1.6%
	回答人数(無回答者含む)	3,922	

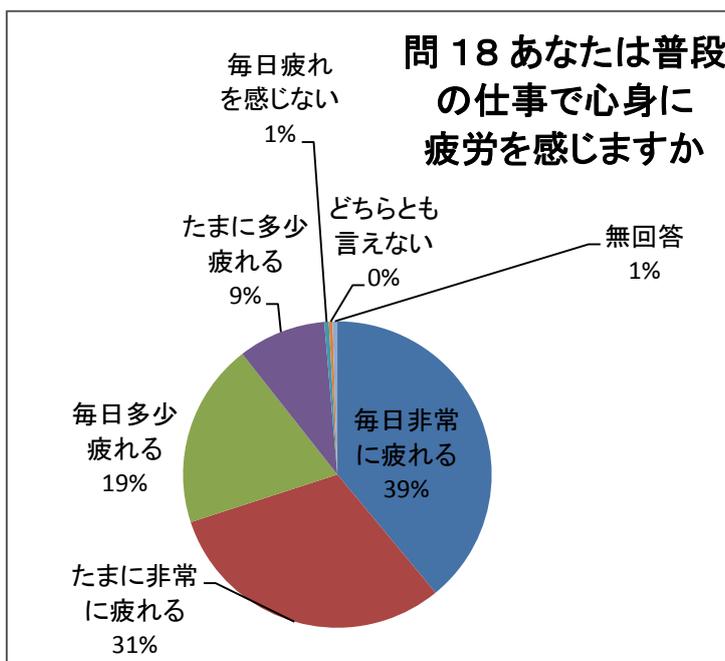
あると答えた3922名中、
 上司57.9%(2269名)、
 医師28.6%(1122名)、
 同僚13.7%(536名)と答えている。



問 18 あなたは普段の仕事で心身に疲労を感じますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎日非常に疲れる	3,873	39.0%
2	たまに非常に疲れる	3,071	30.9%
3	毎日多少疲れる	1,932	19.5%
4	たまに多少疲れる	914	9.2%
5	毎日疲れを感じない	47	0.5%
6	どちらとも言えない	39	0.4%
	無回答	49	0.5%
	合計	9,925	100.0%

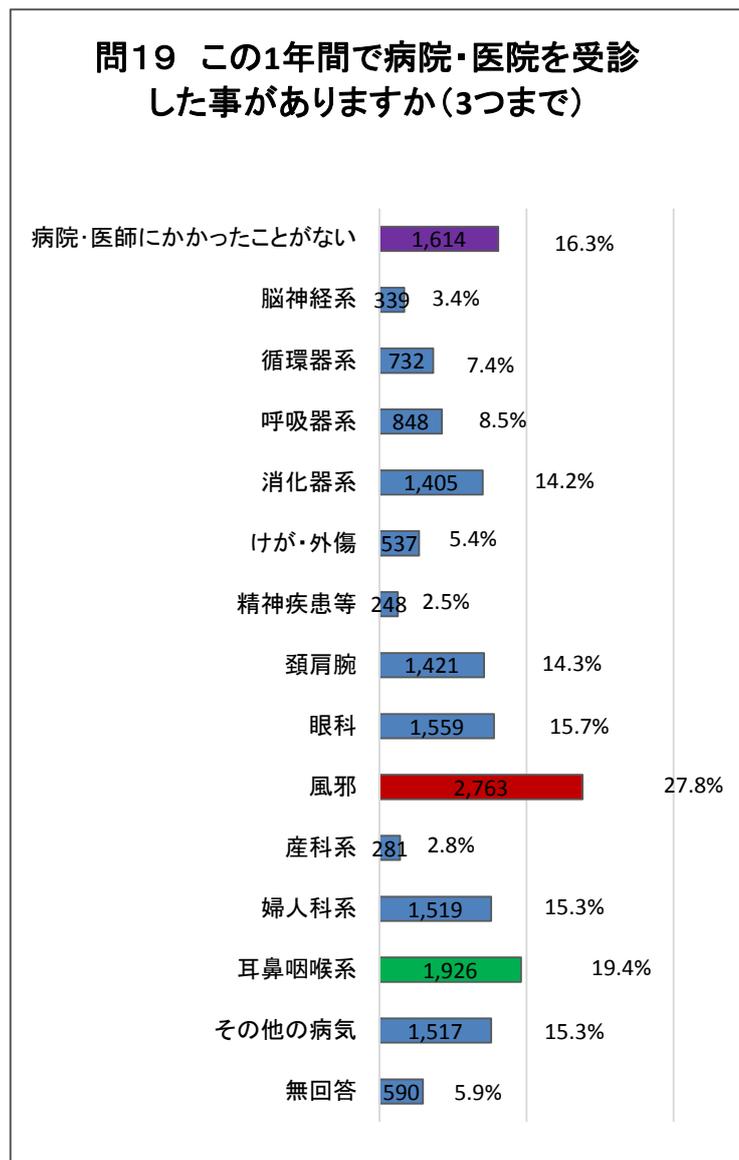
毎日非常に疲れる39.0%、
 たまに非常に疲れる30.9%と、
 合わせて69.9%の方が
 非常に疲れると答えている。



問 19 この1年間で病院・医院を受診した事がありますか(3つまで)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病院・医師にかかったことがない	1,614	16.3%
2	脳神経系	339	3.4%
3	循環器系	732	7.4%
4	呼吸器系	848	8.5%
5	消化器系	1,405	14.2%
6	けが・外傷	537	5.4%
7	精神疾患等	248	2.5%
8	頸肩腕	1,421	14.3%
9	眼科	1,559	15.7%
10	風邪	2,763	27.8%
11	産科系	281	2.8%
12	婦人科系	1,519	15.3%
13	耳鼻咽喉系	1,926	19.4%
14	その他の病気	1,517	15.3%
	無回答	590	5.9%
	回答人数(無回答者含む)	9,925	

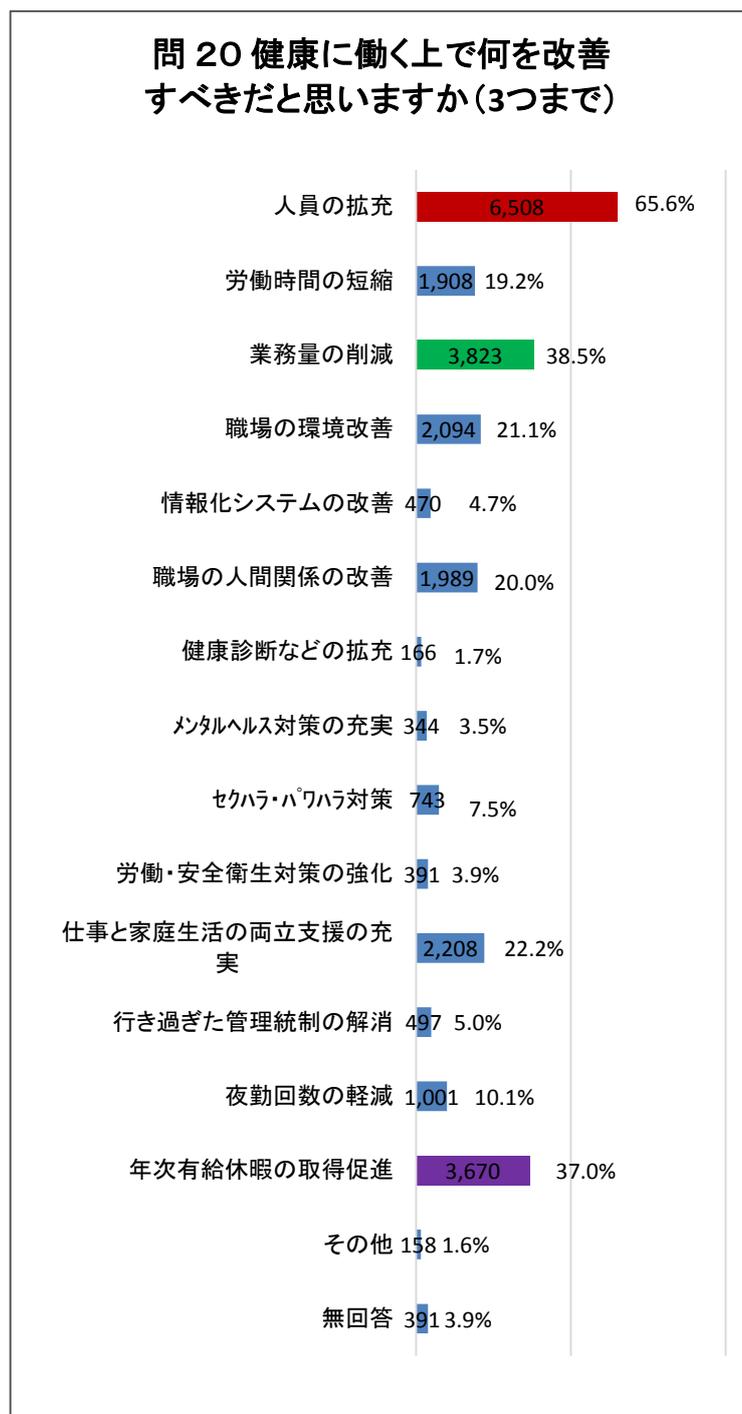
9925名中、かかったことがない1614名と無回答者590名を除く7721名が受診したと答えている。受診として、風邪27.8%(2763名)、耳鼻咽喉系19.4%(1926名)、眼科15.7%(1559名)、婦人科系15.3%(1519名)、その他の病気15.3%(1517名)、頸肩腕14.3%(1421名)、消化器系14.2%(1405名)の順となっている。



問 20 健康に働く上で何を改善すべきだと思いますか(3つまで)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	人員の拡充	6,508	65.6%
2	労働時間の短縮	1,908	19.2%
3	業務量の削減	3,823	38.5%
4	職場の環境改善	2,094	21.1%
5	情報化システムの改善	470	4.7%
6	職場の人間関係の改善	1,989	20.0%
7	健康診断などの拡充	166	1.7%
8	メンタルヘルス対策の充実	344	3.5%
9	セクハラ・ハワハラ対策	743	7.5%
10	労働・安全衛生対策の強化	391	3.9%
11	仕事と家庭生活の両立支援の充実	2,208	22.2%
12	行き過ぎた管理統制の解消	497	5.0%
13	夜勤回数の軽減	1,001	10.1%
14	年次有給休暇の取得促進	3,670	37.0%
15	その他	158	1.6%
	無回答	391	3.9%
	回答人数(無回答者含む)	9,925	

9925名中、人員の拡充65.6%(6508名)、業務量の削減38.5%(3823名)、年次有給休暇の取得促進37.0%(3670名)の順となっている。

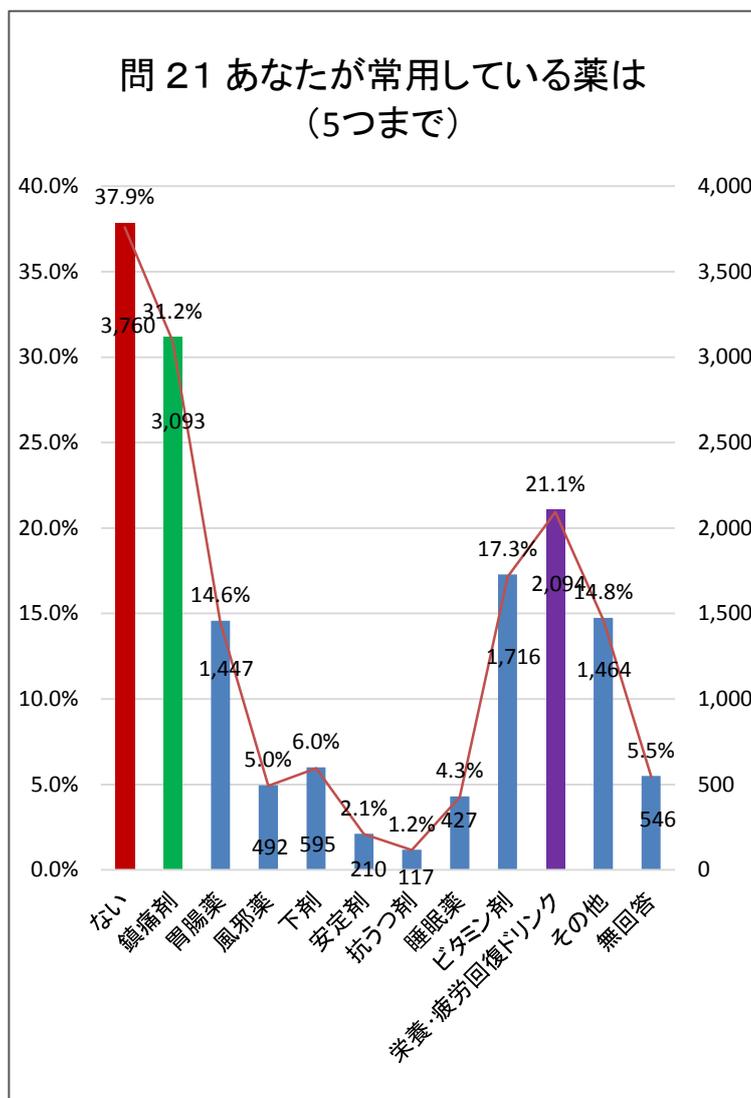


問 21 あなたが常用している薬は(5つまで)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ない	3,760	37.9%
2	鎮痛剤	3,093	31.2%
3	胃腸薬	1,447	14.6%
4	風邪薬	492	5.0%
5	下剤	595	6.0%
6	安定剤	210	2.1%
7	抗うつ剤	117	1.2%
8	睡眠薬	427	4.3%
9	ビタミン剤	1,716	17.3%
10	栄養・疲労回復ドリンク	2,094	21.1%
11	その他	1,464	14.8%
	無回答	546	5.5%
	回答人数(無回答者含む)	9,925	

9925名中、ない3760名、無回答者546名以外の5619名の方が、薬を常用している。鎮痛剤31.2%(3093名)、栄養・疲労回復ドリンク21.1%(2094名)となっている。

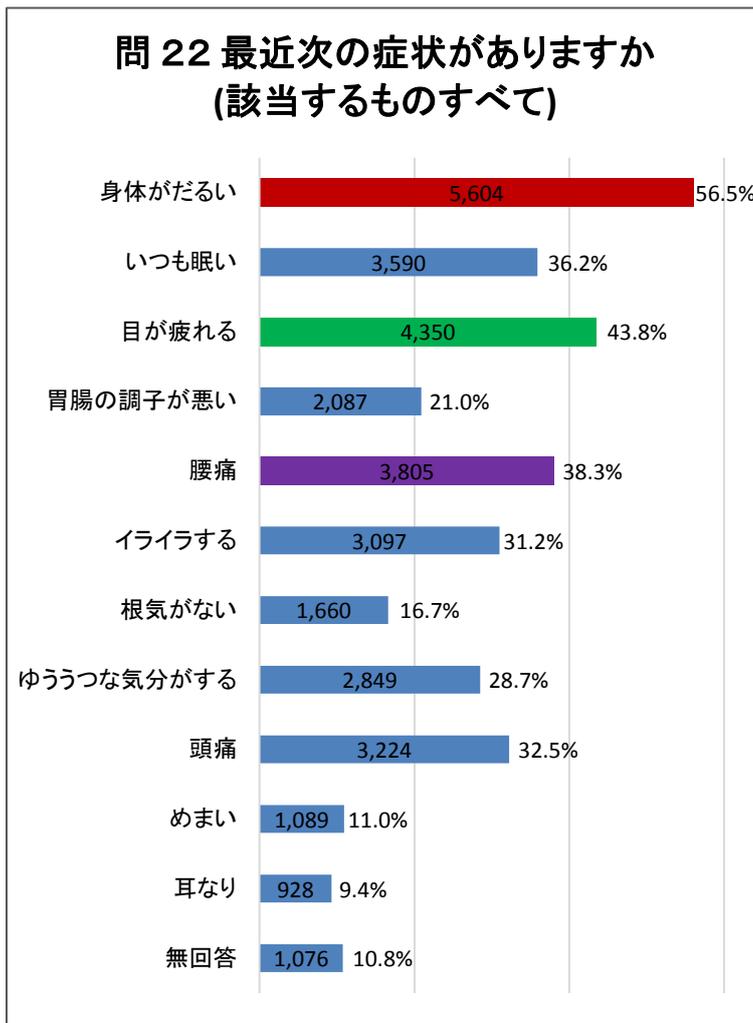
痛みを抑えながら業務についているのがうかがえる。



問 22 最近次の症状がありますか(該当するものすべて)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	身体がだるい	5,604	56.5%
2	いつも眠い	3,590	36.2%
3	目が疲れる	4,350	43.8%
4	胃腸の調子が悪い	2,087	21.0%
5	腰痛	3,805	38.3%
6	イライラする	3,097	31.2%
7	根気がない	1,660	16.7%
8	ゆううつな気分がする	2,849	28.7%
9	頭痛	3,224	32.5%
10	めまい	1,089	11.0%
11	耳なり	928	9.4%
	無回答	1,076	10.8%
	回答人数(無回答者含む)	9,925	

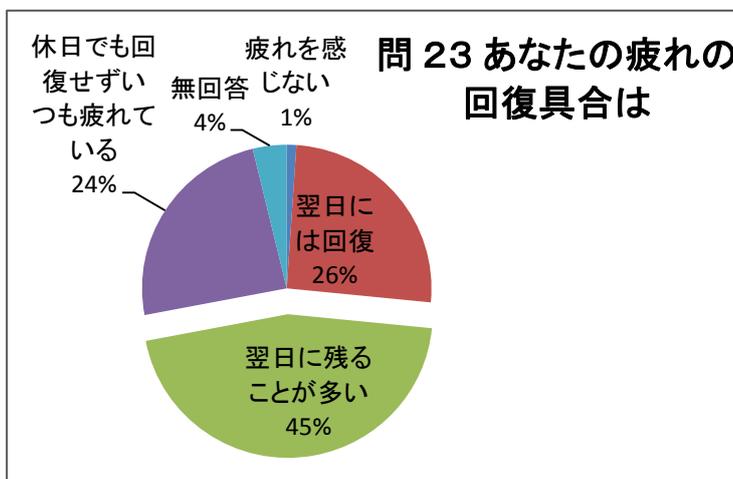
9925名中、
 身体がだるい56.5%(5604名)、
 目が疲れる43.8%(4350名)、
 腰痛38.3%(3805名)、
 いつも眠い36.2%、頭痛32.5%、
 イライラする31.2%
 ゆうつな気分がする28.7%と
 なっている。



問 23 あなたの疲れの回復具合は

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	疲れを感じない	106	1.1%
2	翌日には回復	2,530	25.5%
3	翌日に残ることが多い	4,512	45.5%
4	休日でも回復せずいつも疲れている	2,401	24.2%
	無回答	376	3.8%
	合計	9,925	100.0%

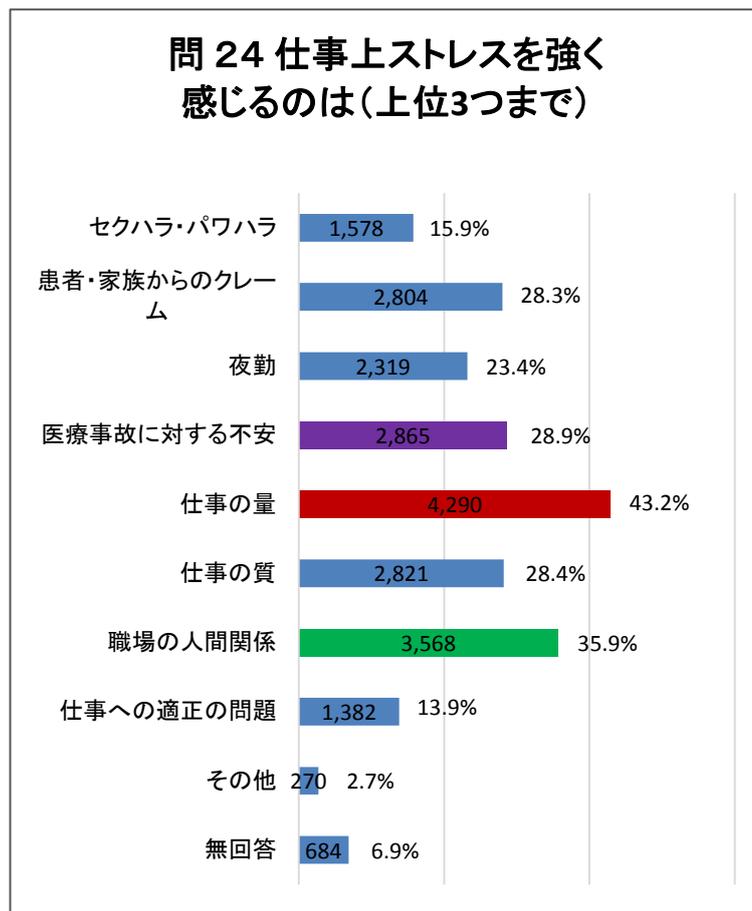
翌日に残ることが多い45.5%、
 休日でも回復せずいつも疲れている
 24.4%となっている。



問 24 仕事上ストレスを強く感じるのは(上位3つまで)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	セクハラ・パワハラ	1,578	15.9%
2	患者・家族からのクレーム	2,804	28.3%
3	夜勤	2,319	23.4%
4	医療事故に対する不安	2,865	28.9%
5	仕事の量	4,290	43.2%
6	仕事の質	2,821	28.4%
7	職場の人間関係	3,568	35.9%
8	仕事への適正の問題	1,382	13.9%
9	その他	270	2.7%
	無回答	684	6.9%
	回答人数(無回答者含む)	9,925	100.0%

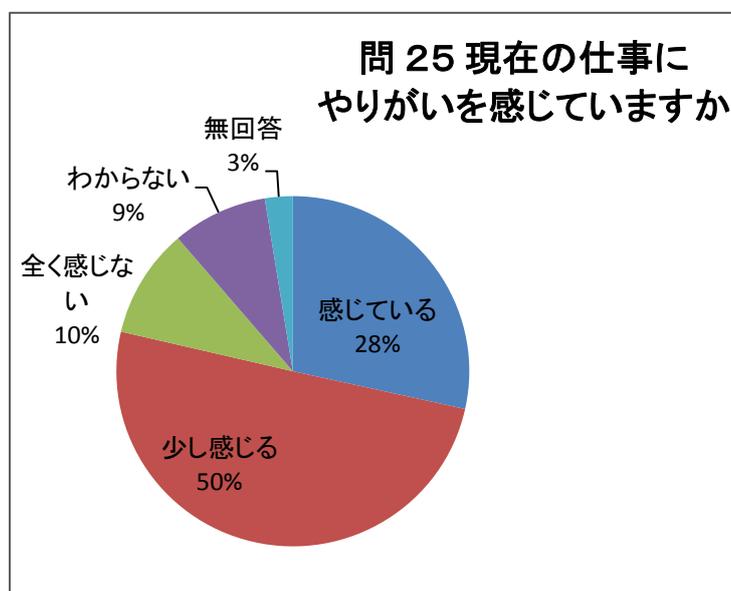
9925名中、仕事の量43.2%(4290名)、職場の人間関係35.9%(3568名)、医療事故に対する不安28.9%(2865名)、仕事の質28.4%、患者・家族からのクレーム28.3%、夜勤23.4%となっている。



問 25 現在の仕事にやりがいを感じていますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	感じている	2,825	28.5%
2	少し感じる	4,979	50.2%
3	全く感じない	1,001	10.1%
4	わからない	867	8.7%
	無回答	253	2.5%
	合計	9,925	100.0%

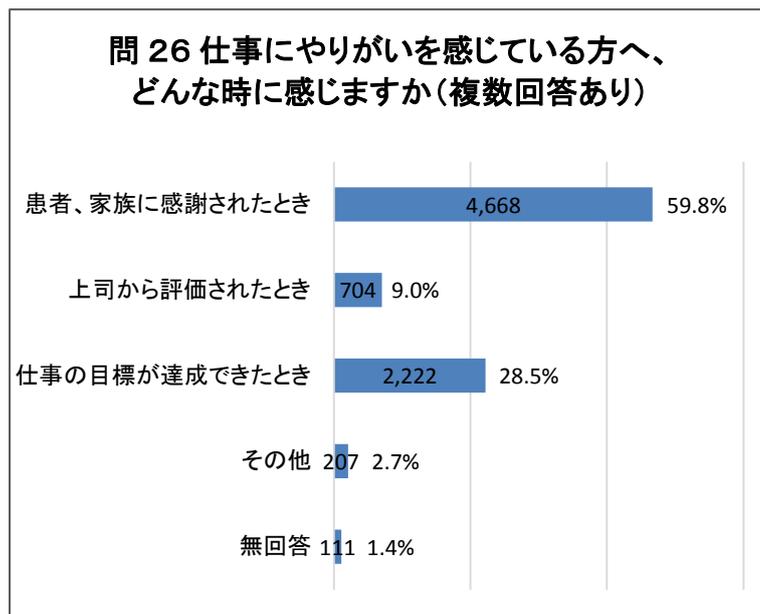
少し感じている50.2%、感じている28.5%合わせると78.7%(7804名)の方が、やりがいを感じていると答えている。



問 26 仕事にやりがいを感じている方へ、どんな時に感じますか(複数回答あり)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	患者、家族に感謝されたとき	4,668	59.8%
2	上司から評価されたとき	704	9.0%
3	仕事の目標が達成できたとき	2,222	28.5%
4	その他	207	2.7%
	無回答	111	1.4%
	回答人数(無回答者含む)	7,804	

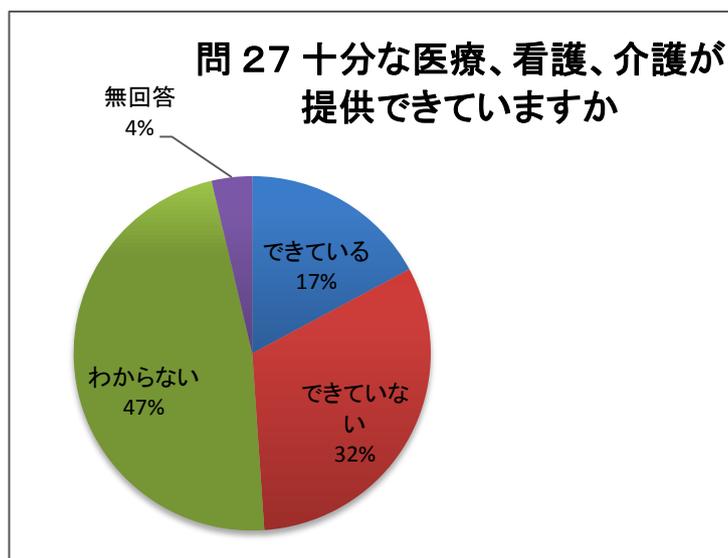
感じていると答えた方7804名中、患者、家族に感謝されたとき59.8%、仕事の目標が達成できた28.5%、上司から評価されたとき9.0%と、なっている。



問 27 十分な医療、看護、介護が提供できていますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	できている	1,701	17.1%
2	できていない	3,154	31.8%
3	わからない	4,707	47.4%
	無回答	363	3.7%
	合計	9,925	100.0%

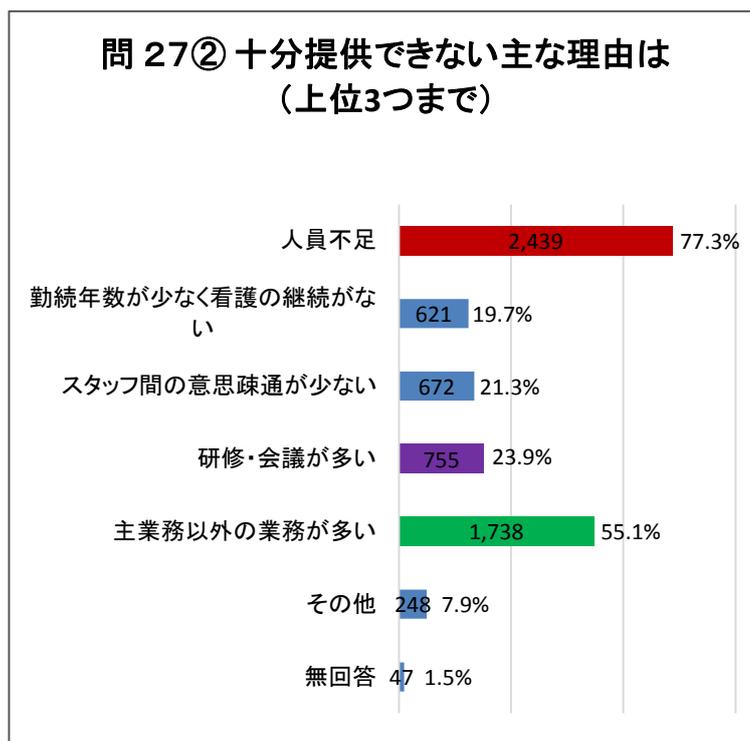
わからない47.4%、できていない31.8%、できている17.1%となっている。



問 27② 十分提供できない主な理由は(上位3つまで)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	人員不足	2,439	77.3%
2	勤続年数が少なく看護の継続がない	621	19.7%
3	スタッフ間の意思疎通が少ない	672	21.3%
4	研修・会議が多い	755	23.9%
5	主業務以外の業務が多い	1,738	55.1%
6	その他	248	7.9%
	無回答	47	1.5%
	回答人数(無回答者含む)	3,154	

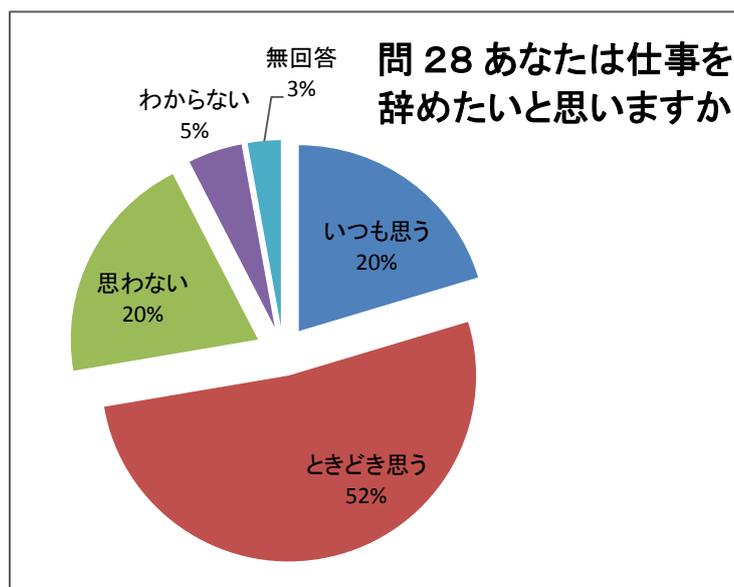
できていないと答えた3154名中、人員不足77.3%(2439名)と圧倒的に多く、続いて主業務以外の業務が多いが55.1%(1738名)、研修・会議が多い23.9%(755名)となっている。



問 28 あなたは仕事を辞めたいと思いますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	いつも思う	2,018	20.3%
2	ときどき思う	5,159	52.0%
3	思わない	2,001	20.2%
4	わからない	465	4.7%
	無回答	282	2.8%
	合計	9,925	100.0%

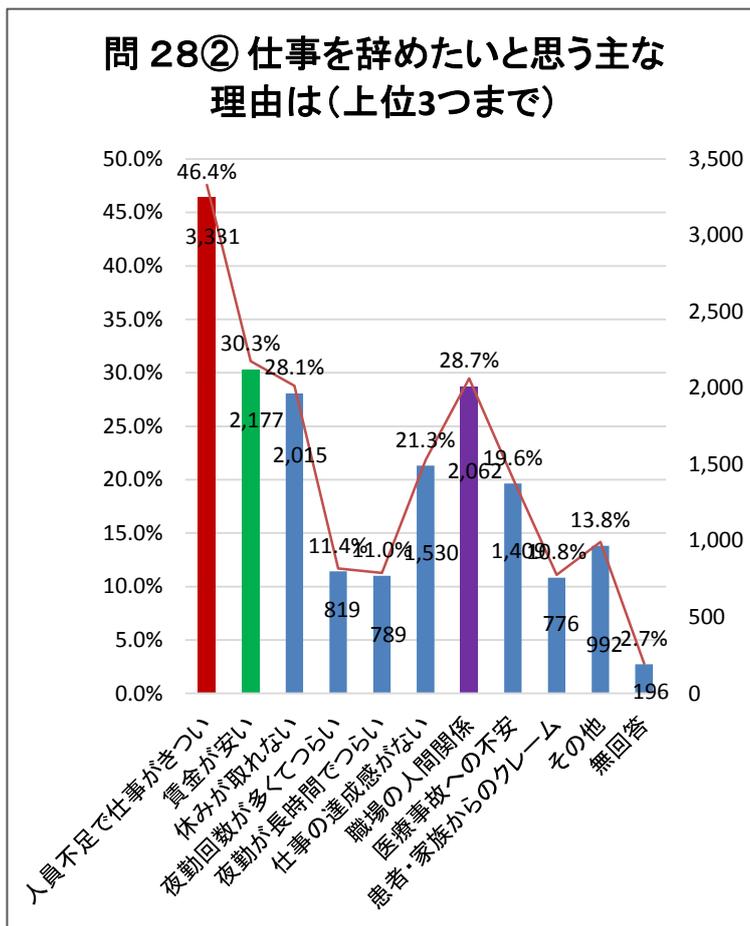
ときどき思う52.0%、いつも思う20.3%を合わせると、思うが72.3%(7177名)となっている。



問 28② 仕事を辞めたいと思う主な理由は(上位3つまで)

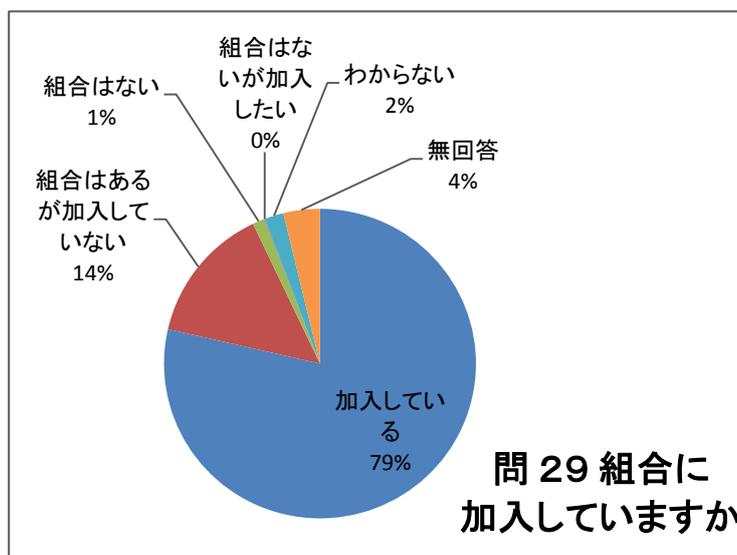
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	人員不足で仕事がきつい	3,331	46.4%
2	賃金が安い	2,177	30.3%
3	休みが取れない	2,015	28.1%
4	夜勤回数が多くてつらい	819	11.4%
5	夜勤が長時間でつらい	789	11.0%
6	仕事の達成感がない	1,530	21.3%
7	職場の人間関係	2,062	28.7%
8	医療事故への不安	1,409	19.6%
9	患者・家族からのクレーム	776	10.8%
10	その他	992	13.8%
	無回答	196	2.7%
	回答人数(無回答者含む)	7,177	

辞めたいと思うと答えた7177名中、人員不足で仕事がきつい46.4%(3331名)、賃金が安い30.3%(2177名)、職場の人間関係28.7%(2062名)、休みが取れない28.1%、医療事故への不安19.6%と、なっている。



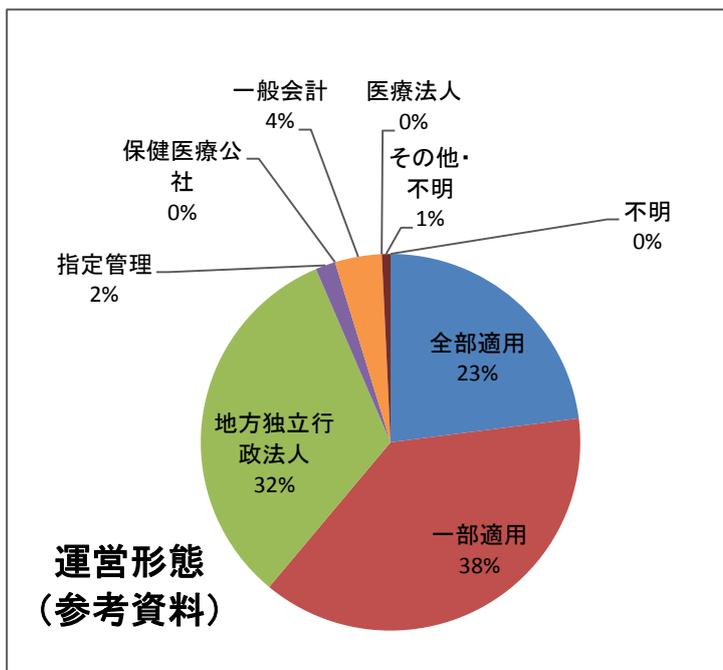
問 29 組合に加入していますか

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	加入している	7,798	78.6%
2	組合はあるが加入していない	1,426	14.4%
3	組合はない	124	1.2%
4	組合はないが加入したい	8	0.1%
5	わからない	194	2.0%
	無回答	375	3.8%
	合計	9,925	100.0%



運営形態(参考資料)

カテゴリ	件数	(全体)%
全部適用	2,280	23.0%
一部適用	3,779	38.1%
地方独立行政法人	3,228	32.5%
指定管理	169	1.7%
保健医療公社	0	0.0%
一般会計	396	4.0%
医療法人	0	0.0%
その他・不明	73	0.7%
不明	0	0.0%
合計	9,925	100.0%

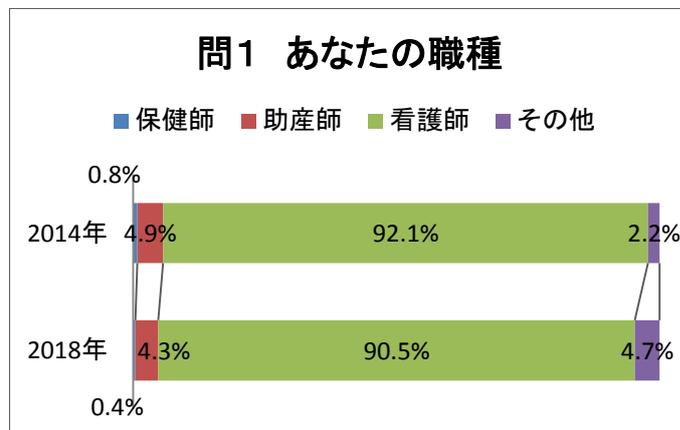


●自治体病院に働く看護職員の労働実態は4年前とどう変化したか●

問1 あなたの職種

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	保健師	48	0.8%	32	0.4%
2	助産師	302	4.9%	326	4.3%
3	看護師	5,651	92.1%	6,786	90.5%
4	その他	135	2.2%	355	4.7%
	合計	6,136	100.0%	7,499	100.0%

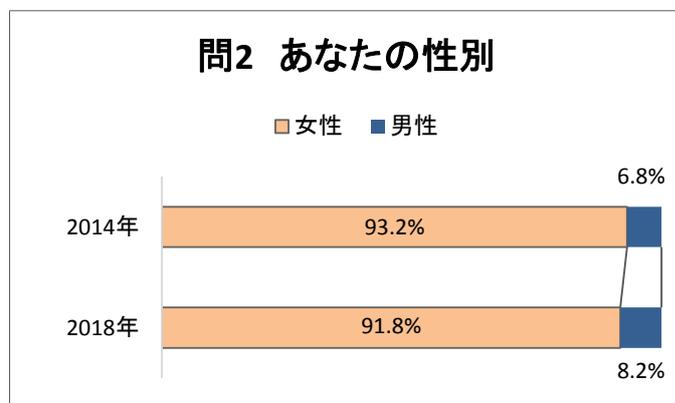
4年前同様に、回答者の90%以上(6786名)が看護師となっている。



【問2】あなたの性別

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	女性	5,716	93.2%	6,872	91.8%
2	男性	420	6.8%	615	8.2%
	合計	6,136	100.0%	7,487	100.0%

4年前同様に、回答者の90%以上(6872名)が女性となっている。

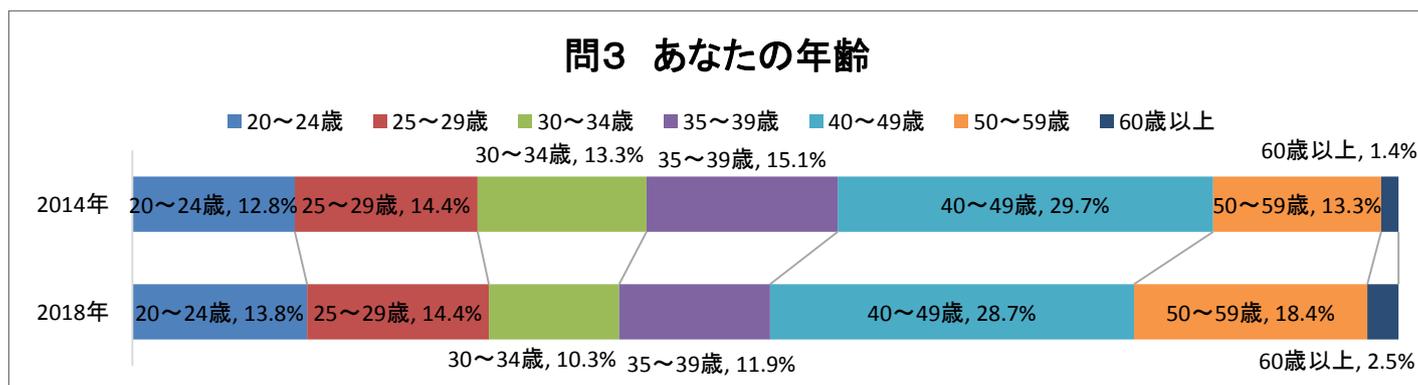


【問3】あなたの年齢

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	20～24歳	786	12.8%	1,032	13.8%
2	25～29歳	885	14.4%	1,075	14.4%
3	30～34歳	818	13.3%	770	10.3%
4	35～39歳	924	15.1%	891	11.9%
5	40～49歳	1,817	29.7%	2,151	28.7%
6	50～59歳	814	13.3%	1,378	18.4%
7	60歳以上	84	1.4%	186	2.5%
	合計	6,128	100.0%	7,483	100.0%

2014年では20歳代27.2%、30歳代28.9%、40歳代29.7%、50歳代以上14.7%となっている。2018年度では20歳代28.2%、30歳代22.2%、40歳代28.7%、50歳代以上20.9%となっている。4年の間に、30歳代が6.7%減り、50歳代以上が6.2%増えている。

30歳代の減りは、子育てしながら働き続けることの難しさが考えられる。50歳代以上が定年等で退職していくことになるので、この状況が続けば、看護力の継承に不安を感じる結果となっている。



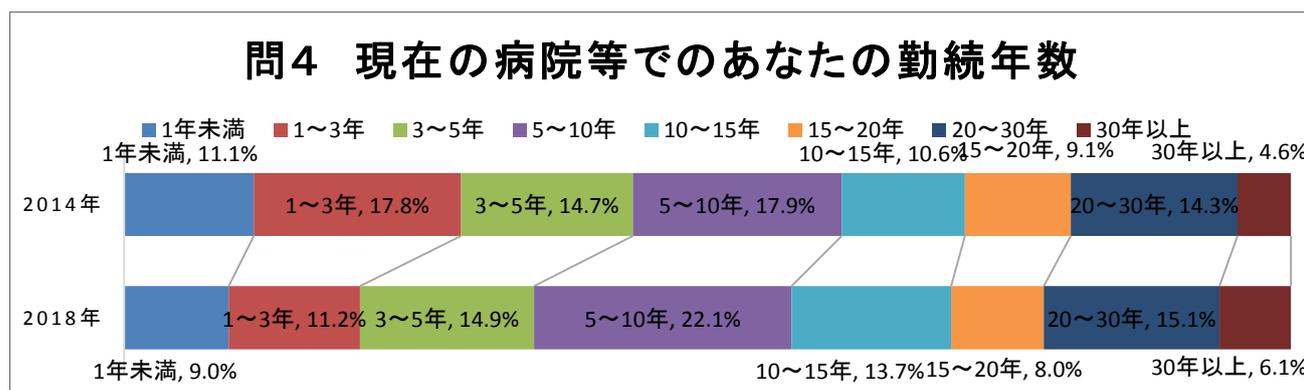
【問4】現在の病院、施設でのあなたの勤続年数

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	1年未満	680	11.1%	672	9.0%
2	1～3年	1,087	17.8%	841	11.2%
3	3～5年	901	14.7%	1,116	14.9%
4	5～10年	1,096	17.9%	1,651	22.1%
5	10～15年	646	10.6%	1,022	13.7%
6	15～20年	556	9.1%	595	8.0%
7	20～30年	874	14.3%	1,127	15.1%
8	30年以上	279	4.6%	457	6.1%
	合計	6,119	100.0%	7,481	100.0%

3年未満が2014年28.9%、2018年20.2%と、8.7%減っている。新規での看護師のなり手が減ってきている可能性と就職してもすぐに辞めていくのではとも考えられる。

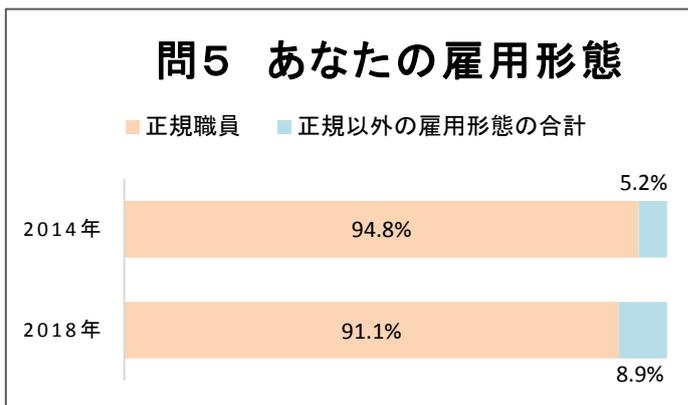
また、2014年、2018年どちらも15～20年が10%満たない値になっているが、10年～15年で徐々に減ってきていることから中堅層として働き続けにくい労働実態となっているのではと考えられる。

前問の年齢層の結果と合わせて、ワークライフバランスの重要性を認識する結果となっている。



【問5】あなたの雇用形態

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	正規職員	5,804	94.8%	6,802	91.1%
2	短時間正規職員	34	0.6%	108	1.4%
3	嘱託	55	0.9%	116	1.6%
4	再任用	38	0.6%	73	1.0%
5	アルバイト(フルタイム)	62	1.0%	112	1.5%
6	アルバイト(短時間)	73	1.2%	72	1.0%
7	夜勤専門	4	0.1%	14	0.2%
8	その他	55	0.9%	170	2.3%
	合計	6,125	100.0%	7,467	100.0%
	正規以外の雇用形態の合計	321	5.2%	665	8.9%



圧倒的に正規職員の割合が多かったので、正規職員以外をまとめて、グラフ化しました。結果として、2014年5.2%が2018年8.9%と増えてきている傾向が若干みられた。

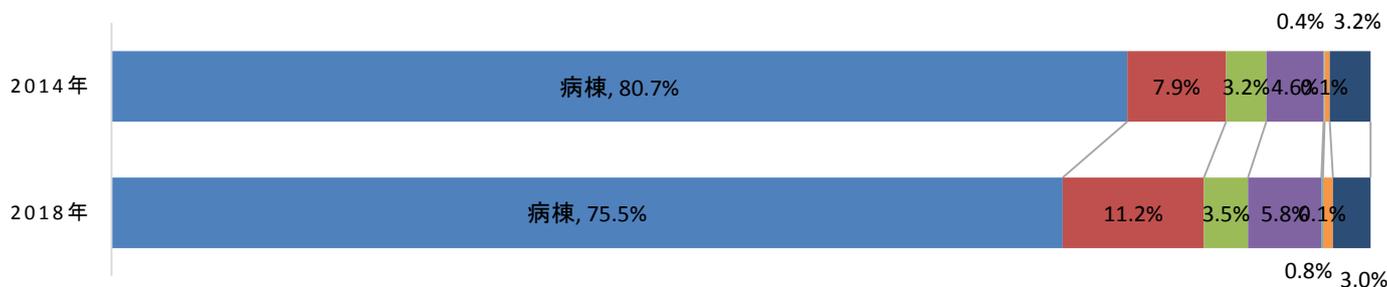
問6 あなたの職場

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	病棟	4,972	80.7%	5,650	75.5%
2	外来	484	7.9%	840	11.2%
3	救急部門	197	3.2%	261	3.5%
4	手術室	281	4.6%	437	5.8%
5	サブライ	5	0.1%	8	0.1%
6	訪問・在宅部門	25	0.4%	60	0.8%
7	その他	199	3.2%	223	3.0%
	合計	6,163	100.0%	7,479	100.0%

4年前同様に、病棟、外来、手術室、救急部門の順に多い結果となった。

問6 あなたの職場

■ 病棟 ■ 外来 ■ 救急部門 ■ 手術室 ■ サブライ ■ 訪問・在宅部門 ■ その他



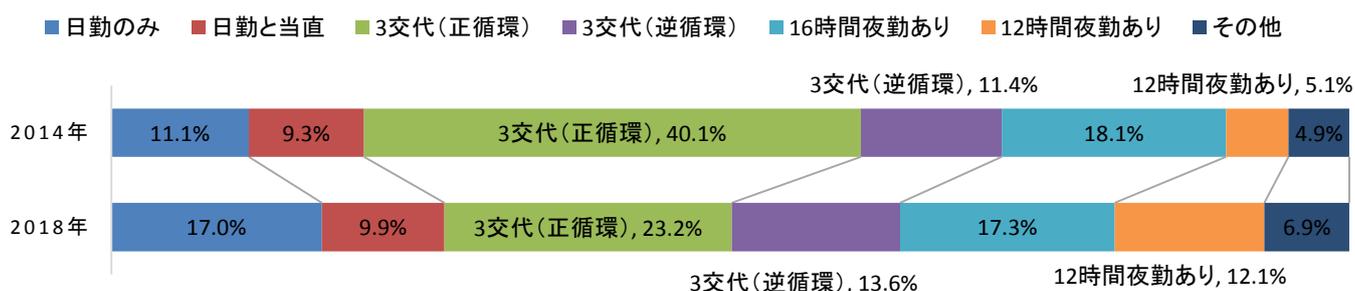
【問7】あなたの勤務形態

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	日勤のみ	684	11.1%	1,282	17.0%
2	日勤と当直	572	9.3%	747	9.9%
3	3交代(正循環)	2,471	40.1%	1,749	23.2%
4	3交代(逆循環)	701	11.4%	1,024	13.6%
5	16時間夜勤あり	1,115	18.1%	1,307	17.3%
6	12時間夜勤あり	311	5.1%	911	12.1%
7	その他	302	4.9%	517	6.9%
	合計	6,156	100.0%	7,537	100.0%

3交代勤務が2014年では51.5%でしたが、2018年では36.8%と14.7%減少。日勤のみが5.9%、12時間夜勤が7.0%増加となっている。

16時間夜勤が0.8%しか減少していないことや、前述の3交代勤務の大幅な減少等から12時間夜勤への移行は、3交代勤務(8時間夜勤)からの移行と考えられ12時間夜勤の導入は長時間夜勤の解消には大きな効果にならなかったことがうかがえる。

問7 あなたの勤務形態

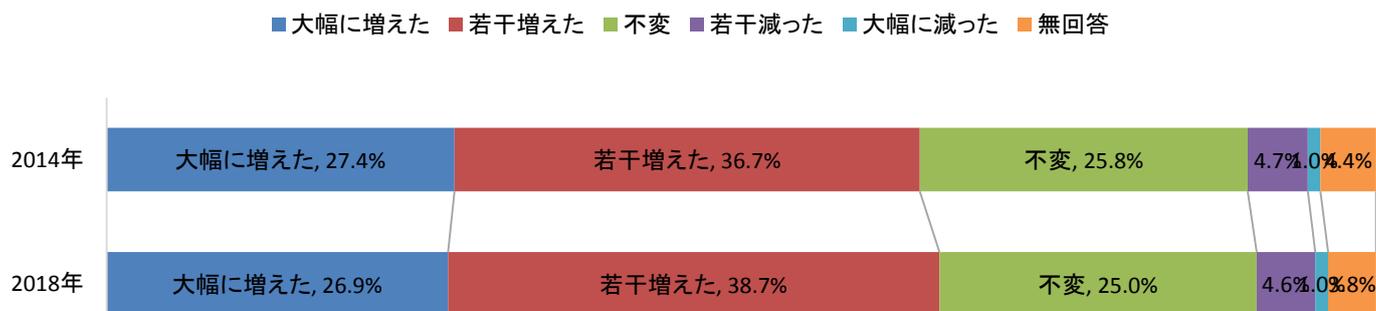


【問8】1年前に比べ仕事量はどうか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	大幅に増えた	1,681	27.4%	2,015	26.9%
2	若干増えた	2,250	36.7%	2,900	38.7%
3	不変	1,585	25.8%	1,873	25.0%
4	若干減った	290	4.7%	347	4.6%
5	大幅に減った	62	1.0%	75	1.0%
	無回答	269	4.4%	284	3.8%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

大幅に増えたと、若干増えたを合わせると、2014年64.1%、2018年65.6%と、4年前と同様の結果となった。

問8 1年前に比べ仕事量はどうか



問 9 今年9月の超過勤務

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	なし	453	7.4%	636	8.5%
2	5時間未満	1,792	29.2%	2,223	29.7%
3	5～9時間	1,732	28.2%	1,547	20.6%
4	10～19時間	1,287	21.0%	1,653	22.1%
5	20～29時間	476	7.8%	791	10.6%
6	30～39時間	144	2.3%	283	3.8%
7	40～49時間	64	1.0%	139	1.9%
8	50～59時間	41	0.7%	60	0.8%
9	60～79時間	18	0.3%	30	0.4%
10	80時間以上	12	0.2%	11	0.1%
	無回答	118	1.9%	121	1.6%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

2014年の、なし7.4%、2018年8.5%と、超過勤務なしが増えている。20時間未満では78.4%、2018年72.4%と、減っている。

しかし、20～29時間では2.8%増加、30～39時間でも1.5%増加、40～49時間でも0.9%増加となっている。50時間以上でも0.1%の増加となっている。徐々に長時間労働になってきているのではないか。

問9 今年9月の超過勤務

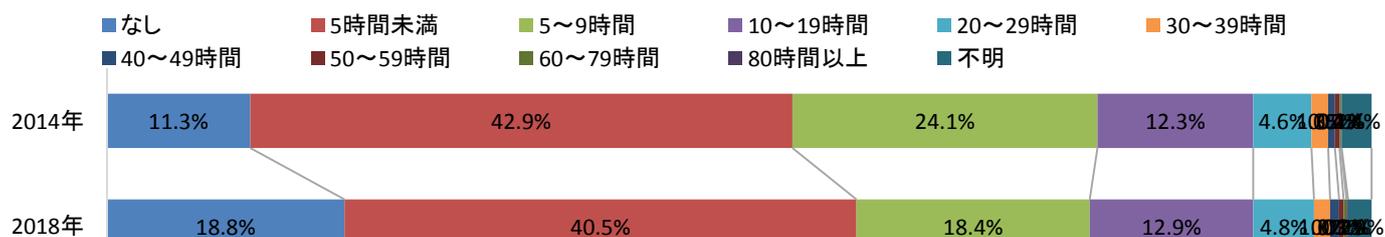


問 10 今年9月の超過勤務のうちサービス残業

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	なし	644	11.3%	1,408	18.8%
2	5時間未満	2,437	42.9%	3,034	40.5%
3	5～9時間	1,371	24.1%	1,381	18.4%
4	10～19時間	699	12.3%	970	12.9%
5	20～29時間	263	4.6%	360	4.8%
6	30～39時間	74	1.3%	94	1.3%
7	40～49時間	31	0.5%	54	0.7%
8	50～59時間	20	0.4%	26	0.3%
9	60～79時間	7	0.1%	18	0.2%
10	80時間以上	4	0.1%	10	0.1%
	不明	134	2.4%	139	1.9%
	合計	5,684	100.0%	7,494	100.0%

サービス残業なしが2014年11.3%、2018年18.8%と7.5%サービス残業が減ってきているが、2014年同様に5時間未満を請求しない人が40.5%で、20時間未満のサービス残業は71.8%と2014年より7.5%少なくなっている。

問10 今年9月の超過勤務のうちサービス残業



問 11 昨年1年間の有給休暇は何日取れましたか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	なし	330	7.2%	451	6.0%
2	1～4日	1,214	26.5%	1,502	20.0%
3	5～9日	1,409	30.8%	2,447	32.7%
4	10～14日	894	19.5%	1,863	24.9%
5	15～19日	314	6.9%	663	8.8%
6	20日以上	38	0.8%	130	1.7%
	無回答	377	8.2%	438	5.8%
	合計	4,576	100.0%	7,494	100.0%

2014年に比べると10～14日5.4%増、15～19日1.9%増、20日以上も0.9%増と取得日数は上がってきている。
しかし、なし6.0%、1～4日20.0%、5～9日32.7%と、10日未満が58.7%となっている。政府が言う75%取得に遠い結果となっている。

問11 昨年1年間の有給休暇は何日取れましたか

■なし ■1～4日 ■5～9日 ■10～14日 ■15～19日 ■20日以上 ■無回答



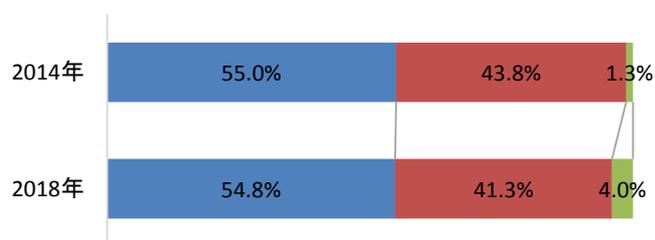
問 12 2018年10月は3日以上連続休日はありますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	ある	2,515	55.0%	4,105	54.8%
2	ない	2,003	43.8%	3,092	41.3%
	無回答	58	1.3%	297	4.0%
	合計	4,576	100.0%	7,494	100.0%

2014年あるが55.0%、ないが43.8%。
2018年もほぼ同様の、あるが54.8%、ないが41.3%という結果となっている。

問12 10月は3日以上連続休日はありますか

■ある ■ない ■無回答



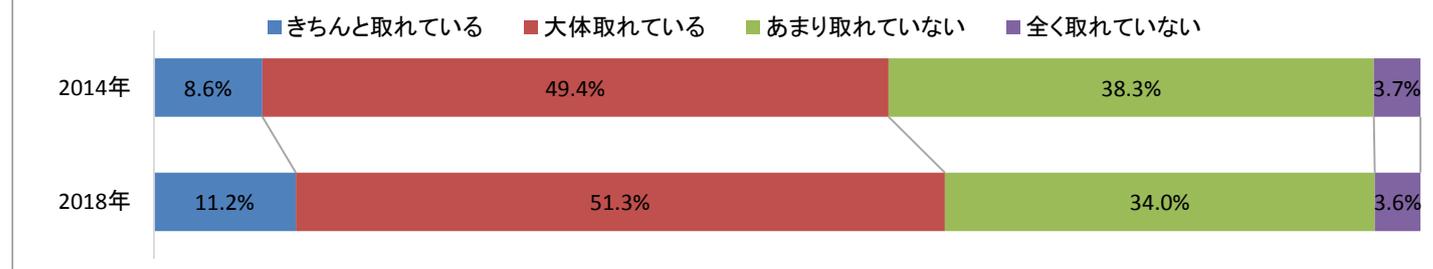
問13 3交代勤務の方のみへの設問

問 13-1 準夜・深夜勤務中に休憩時間はとれていますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	きちんと取れている	269	8.6%	330	11.2%
2	大体取れている	1,551	49.4%	1,511	51.3%
3	あまり取れていない	1,203	38.3%	1,001	34.0%
4	全く取れていない	115	3.7%	106	3.6%
	合計	3,138	100.0%	2,948	100.0%

2014年きちんと取れている8.6%、
 大体取れている49.4%を合わせて、取れているが58.0%。
 2018年きちんと取れている11.2%、
 大体取れている51.3%を合わせて、取れているが62.5%
 と、休憩が取れているが増えてきている。
 ただ、全く取れていないが4年前同様に3.6%ある。

問13-1 準夜・深夜勤務中に休憩時間は取れていますか

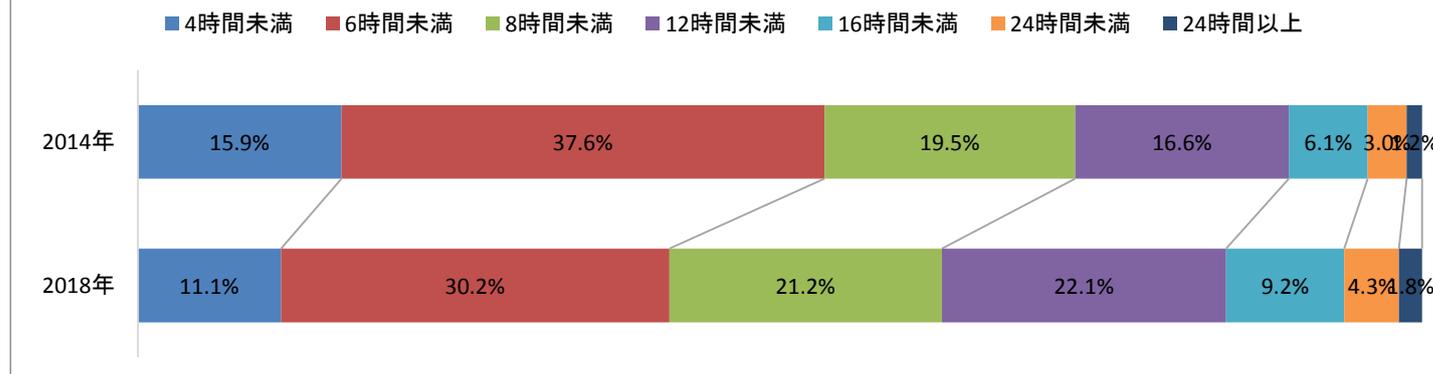


問 13-2 2018年9月で、準・深夜勤務終了してから次勤務迄の一番短い間隔は

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	4時間未満	494	15.9%	327	11.1%
2	6時間未満	1,170	37.6%	888	30.2%
3	8時間未満	608	19.5%	623	21.2%
4	12時間未満	518	16.6%	650	22.1%
5	16時間未満	191	6.1%	270	9.2%
6	24時間未満	94	3.0%	125	4.3%
7	24時間以上	38	1.2%	53	1.8%
	合計	3,113	100.0%	2,936	100.0%

2014年では12時間未満のインターバルが89.6%
 あったのが、2018年では84.6%と5%減少してきている。
 しかし、8時間未満という、あまりにも過酷な勤務を
 60%以上の人が、まだまだ行っています。

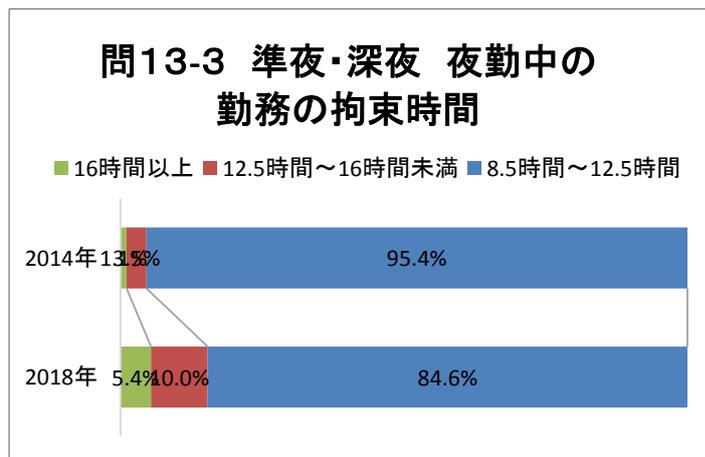
問 13-2 9月で、準・深夜勤務終了してから次勤務迄の一番短い間隔は



問 13-3 準夜・深夜 夜勤中の勤務の拘束時間

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	8.5時間～12.5時間	2,937	95.4%	2,473	84.6%
2	12.5時間～16時間未満	108	3.5%	293	10.0%
3	16時間以上	34	1.1%	158	5.4%
	無回答		0.0%		0.0%
	合計	3,079	100.0%	2,924	100.0%

2014年12.5時間以内が95.4%であったのが、2018年では84.6%と減少し、12.5時間～16時間が6.5%増の10.0%、16時間以上も4.3%増の5.4%となり、夜勤後の拘束時間が長くなっていて、長時間化してきています。

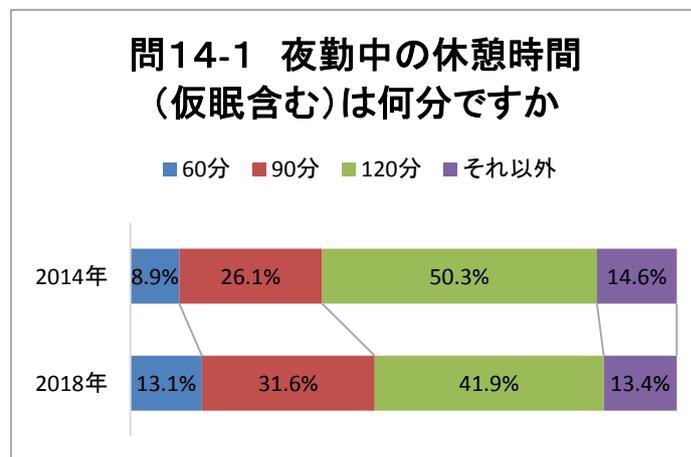


問14 16時間夜勤あり、又は12時間夜勤ありの方のみへの設問

問 14-1 夜勤中の休憩時間(仮眠含む)は何分ですか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	60分	123	8.9%	348	13.1%
2	90分	360	26.1%	842	31.6%
3	120分	693	50.3%	1,115	41.9%
4	それ以外	201	14.6%	356	13.4%
	無回答		0.0%		0.0%
	合計	1,377	100.0%	2,661	100.0%

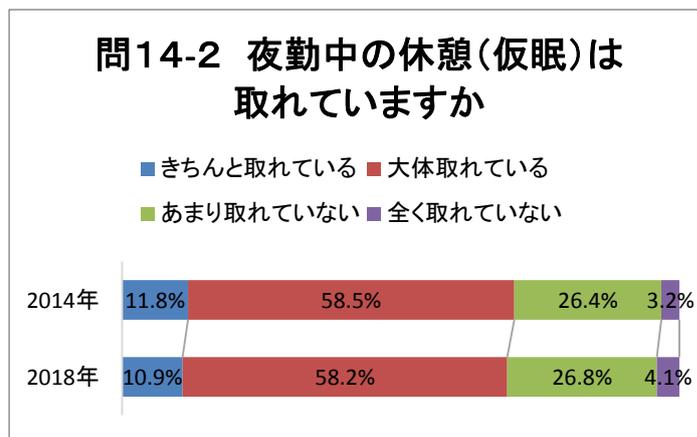
2014年120分が50.3%、90分が26.1%が、2018年には120分が41.9%に減少、90分が31.6%と増加している。



問 14-2 上記を含む夜勤中の休憩(仮眠)はとれていますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	きちんと取れている	165	11.8%	291	10.9%
2	大体取れている	815	58.5%	1,556	58.2%
3	あまり取れていない	368	26.4%	716	26.8%
4	全く取れていない	45	3.2%	109	4.1%
	無回答		0.0%		0.0%
	合計	1,393	100.0%	2,672	100.0%

2014年、2018年、ほぼ同様の結果となっているが、あまり取れていない26.8%、全く取れていない4.1%、合わせて30%を超える人が取れていないと答えています。

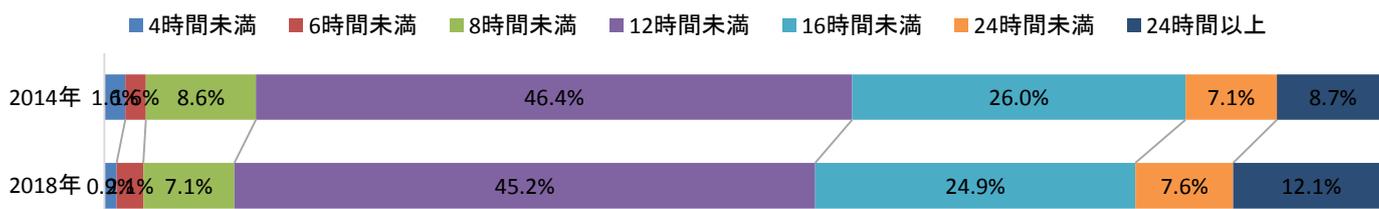


問 14-3 2018年9月夜勤終了してから次勤務迄の一番短い間隔は

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	4時間未満	22	1.6%	25	0.9%
2	6時間未満	22	1.6%	55	2.1%
3	8時間未満	117	8.6%	188	7.1%
4	12時間未満	633	46.4%	1,199	45.2%
5	16時間未満	354	26.0%	661	24.9%
6	24時間未満	97	7.1%	202	7.6%
7	24時間以上	119	8.7%	321	12.1%
	無回答		0.0%		0.0%
	合計	1,364	100.0%	2,651	100.0%

2014年の12時間以上のインターバルが41.8%が、2018年では44.6%と少し増加しているが、8時間未満が10.1%と、長時間夜勤後のインターバル8時間未満という、あまりにも過酷な勤務で、早急に改善する必要があります。

問14-3 9月で夜勤終了してから次勤務までの一番短い間隔は

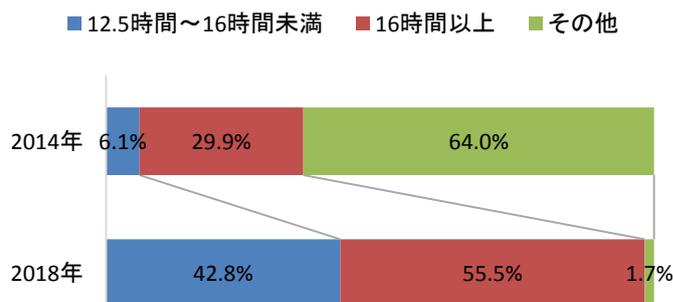


問 14-4 夜勤の勤務の拘束時間

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	12.5時間～16時間未満	84	6.1%	1,130	42.8%
2	16時間以上	411	29.9%	1,467	55.5%
3	その他	880	64.0%	46	1.7%
	無回答		0.0%		0.0%
	合計	1,375	100.0%	2,643	100.0%

2014年では12.5時間～16時間未満6.1%が、2018年では42.8%と、長時間夜勤のうち12時間夜勤の一定の広がりがみられる。

問14-4 夜勤の勤務の拘束時間

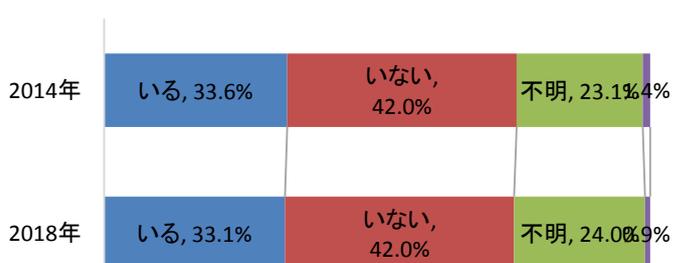


問 15 あなたの職場でメンタル障害で休んだり治療を受けている職員は

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	いる	2,059	33.6%	2,484	33.1%
2	いない	2,577	42.0%	3,145	42.0%
3	不明	1,418	23.1%	1,795	24.0%
	無回答	83	1.4%	70	0.9%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

2014年、2018年ともに、いると答えた人が33%強となっている。

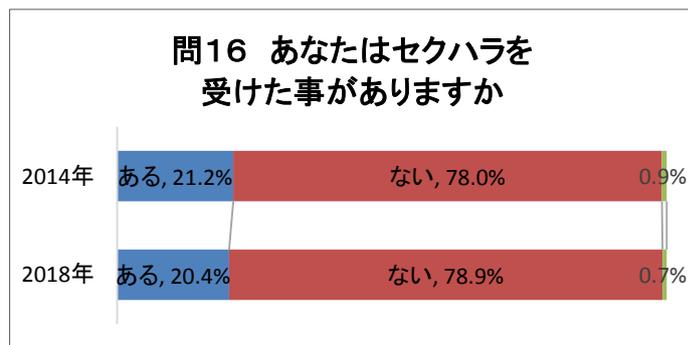
問 15 あなたの職場でメンタル障害で休んだり治療を受けている職員は



問 16 あなたはセクハラを受けた事がありますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	ある	1,299	21.2%	1,527	20.4%
2	ない	4,785	78.0%	5,912	78.9%
	無回答	53	0.9%	55	0.7%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

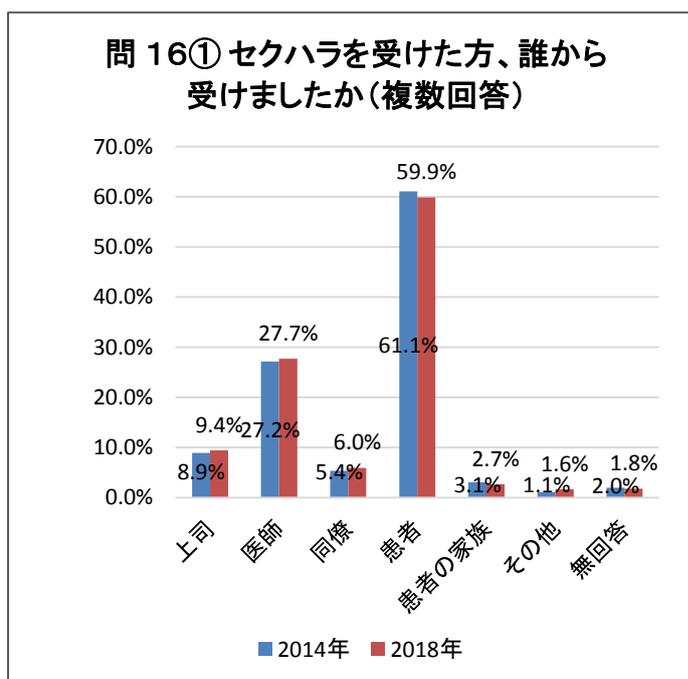
2014年21.2%、2018年20.4%と、ほぼ同様の結果となっている。



問 16① セクハラを受けた方、誰から受けましたか(複数回答)

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	上司	116	8.9%	144	9.4%
2	医師	353	27.2%	423	27.7%
3	同僚	70	5.4%	91	6.0%
4	患者	794	61.1%	914	59.9%
5	患者の家族	40	3.1%	41	2.7%
6	その他	14	1.1%	25	1.6%
	無回答	26	2.0%	27	1.8%
	回答人数(無回答者含む)	1,299		1,527	

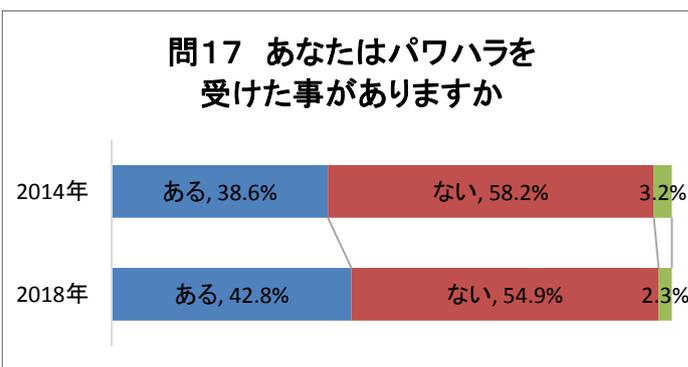
2014年、2018年ともに、患者、医師、上司の順となっている。



問 17 あなたはパワハラを受けた事がありますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	ある	2,367	38.6%	3,208	42.8%
2	ない	3,573	58.2%	4,111	54.9%
	無回答	197	3.2%	175	2.3%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

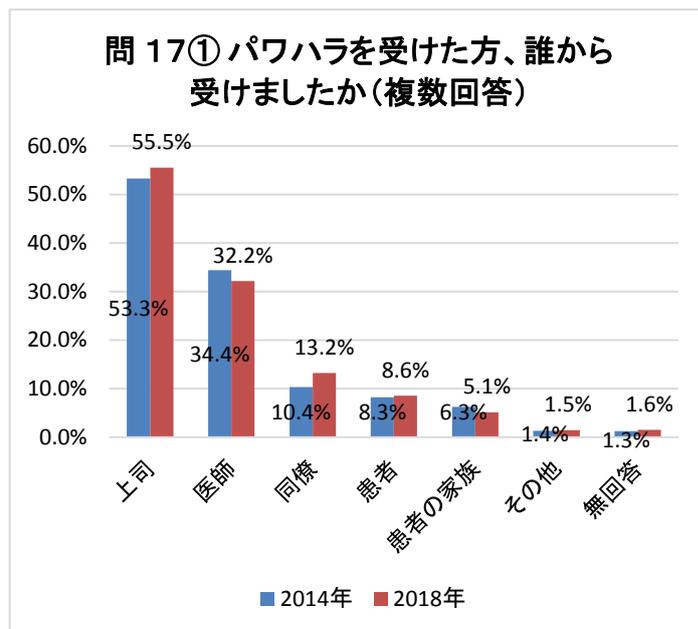
2014年ある38.6%、2018年42.8%と4.2%増。若干、増加傾向になっている。



問 17① パワハラを受けた方、誰から受けましたか(複数回答)

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	上司	1,261	53.3%	1,781	55.5%
2	医師	814	34.4%	1,032	32.2%
3	同僚	245	10.4%	425	13.2%
4	患者	196	8.3%	275	8.6%
5	患者の家族	149	6.3%	165	5.1%
6	その他	32	1.4%	47	1.5%
	無回答	30	1.3%	50	1.6%
	回答人数(無回答者含む)	2,367		3,208	

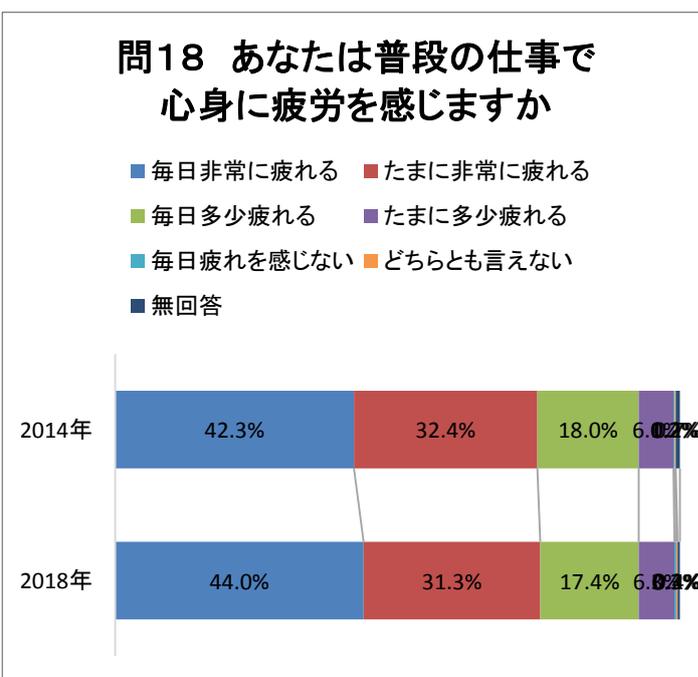
2014年、2018年ともに、上司、医師、同僚の順となっている。
若干、上司と同僚の%が増加している。



問 18 あなたは普段の仕事で心身に疲労を感じますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	毎日非常に疲れる	2,596	42.3%	3,297	44.0%
2	たまに非常に疲れる	1,991	32.4%	2,344	31.3%
3	毎日多少疲れる	1,103	18.0%	1,305	17.4%
4	たまに多少疲れる	375	6.1%	475	6.3%
5	毎日疲れを感じない	14	0.2%	23	0.3%
6	どちらとも言えない	13	0.2%	18	0.2%
	無回答	45	0.7%	32	0.4%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

2014年、2018年ともに、毎日非常に疲れるが40%以上で、続いてたまに非常に疲れるが30%以上となっている。
毎日の苛酷な労働実態が改善されていない結果となっている。



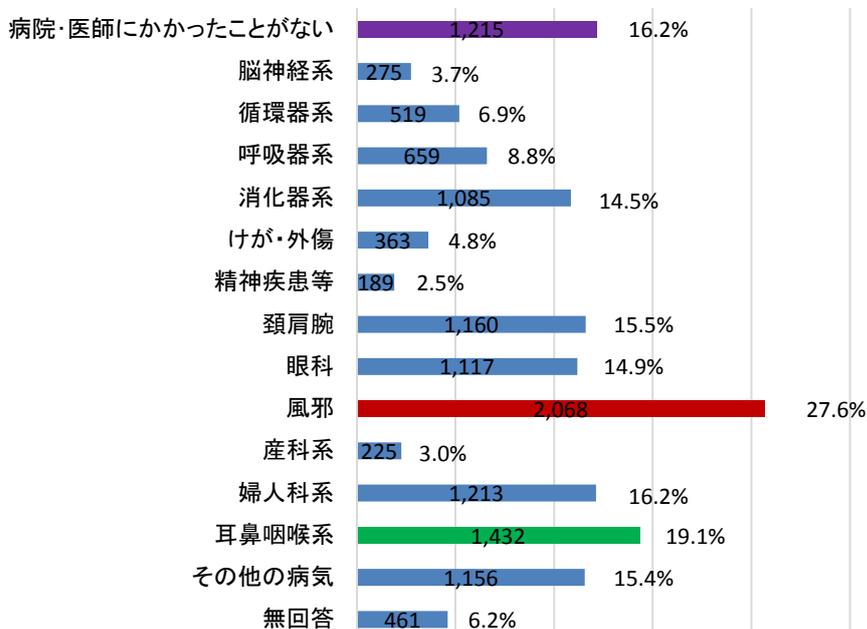
問 19 この1年間で病院・医院を受診した事がありますか(3つまで)

No.	カテゴリ	件数	2018年
1	病院・医師にかかったことがない	1,215	16.2%
2	脳神経系	275	3.7%
3	循環器系	519	6.9%
4	呼吸器系	659	8.8%
5	消化器系	1,085	14.5%
6	けが・外傷	363	4.8%
7	精神疾患等	189	2.5%
8	頸肩腕	1,160	15.5%
9	眼科	1,117	14.9%
10	風邪	2,068	27.6%
11	産科系	225	3.0%
12	婦人科系	1,213	16.2%
13	耳鼻咽喉系	1,432	19.1%
14	その他の病気	1,156	15.4%
	無回答	461	6.2%
	回答人数(無回答者含む)	7,494	

2014年と若干設問項目が異なるため、2018年のみでの分析です。7494名中、かかったことがない1215名と無回答の461名を除く、を除く5818名が受診したと答えています。

受診トップとして、風邪27.6%(2068名)、耳鼻咽喉科系19.1%(1432名)、婦人科系16.2%(1213名)、頸肩腕15.5%、その他の病気15.4%、眼科14.9%、消化器系14.5%の順となっています。

問 19 この1年間で病院・医院を受診した事がありますか(3つまで)



問 20 健康に働く上で何を改善すべきだと思いますか(3つまで)

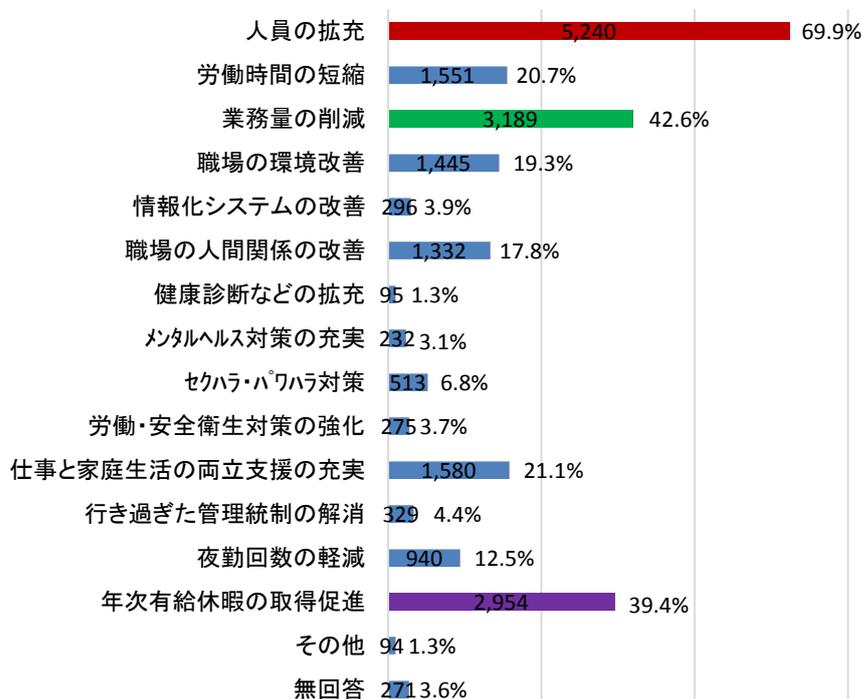
No.	カテゴリ	件数	2018年
1	人員の拡充	5,240	69.9%
2	労働時間の短縮	1,551	20.7%
3	業務量の削減	3,189	42.6%
4	職場の環境改善	1,445	19.3%
5	情報化システムの改善	296	3.9%
6	職場の人間関係の改善	1,332	17.8%
7	健康診断などの拡充	95	1.3%
8	メンタルヘルス対策の充実	232	3.1%
9	セクハラ・パワハラ対策	513	6.8%
10	労働・安全衛生対策の強化	275	3.7%
11	仕事と家庭生活の両立支援の充実	1,580	21.1%
12	行き過ぎた管理統制の解消	329	4.4%
13	夜勤回数の軽減	940	12.5%
14	年次有給休暇の取得促進	2,954	39.4%
15	その他	94	1.3%
	無回答	271	3.6%
	回答人数(無回答者含む)	7,494	

2014年と若干設問項目が異なるため、2018年のみでの分析です。

回答人数7494名中、人員の拡充が断トツで69.9%(5240名)、続いて、業務量の削減42.6%(3189名)、年次有給休暇の取得促進が39.4%(2954名)となっています。

業務量に対して、人員の不十分さと、そのために有給休暇が取得できない実態の改善が求められています。

問 20 健康に働く上で何を改善すべきだと思いますか(3つまで)



問 21 あなたが常用している薬は(5つまで)

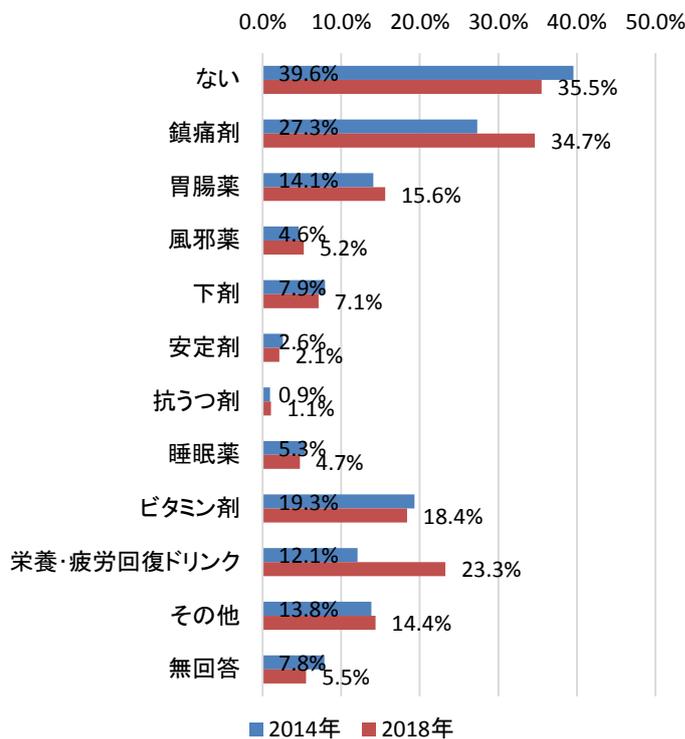
No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	ない	2,428	39.6%	2,662	35.5%
2	鎮痛剤	1,676	27.3%	2,598	34.7%
3	胃腸薬	864	14.1%	1,169	15.6%
4	風邪薬	282	4.6%	391	5.2%
5	下剤	487	7.9%	535	7.1%
6	安定剤	159	2.6%	158	2.1%
7	抗うつ剤	58	0.9%	80	1.1%
8	睡眠薬	328	5.3%	354	4.7%
9	ビタミン剤	1,186	19.3%	1,377	18.4%
10	栄養・疲労回復ドリンク	740	12.1%	1,743	23.3%
11	その他	848	13.8%	1,077	14.4%
	無回答	481	7.8%	415	5.5%
	回答人数(無回答者含む)	6,137	100.0%	7,494	100.0%

常用している薬がないが、どちらも1位だが、2018年では鎮痛剤の常用が34.7%(2598名)と2014年に比べて7.4%多くなり、常用薬がない35.5%を追い越す勢いである。

また、栄養・疲労回復ドリンクも2014年の12.1%から1.9倍の23.3%に増えている。

鎮痛剤で痛みをこらえながら、ドリンクで疲れをごまかして勤務している状況がわかる結果となっている。

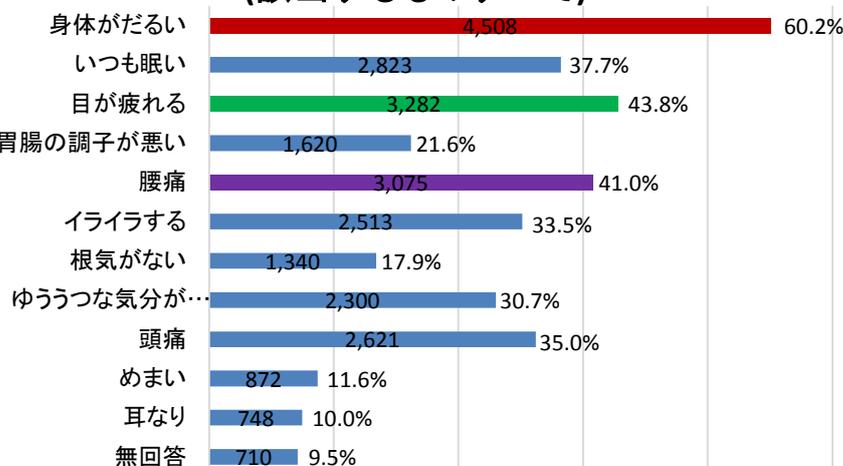
問 21 あなたが常用している薬は(5つまで)



問 22 最近次の症状がありますか(該当するものすべて)

No.	カテゴリ	件数	2018年
1	身体がだるい	4,508	60.2%
2	いつも眠い	2,823	37.7%
3	目が疲れる	3,282	43.8%
4	胃腸の調子が悪い	1,620	21.6%
5	腰痛	3,075	41.0%
6	イライラする	2,513	33.5%
7	根気がない	1,340	17.9%
8	ゆううつな気分がする	2,300	30.7%
9	頭痛	2,621	35.0%
10	めまい	872	11.6%
11	耳なり	748	10.0%
	無回答	710	9.5%
	回答人数(無回答者含む)	7,494	

問 22 最近次の症状がありますか(該当するものすべて)



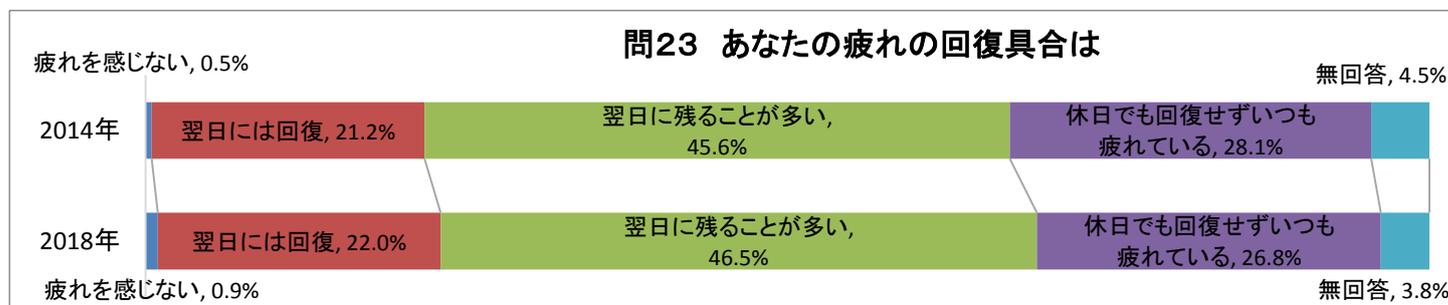
2014年と若干設問項目が異なるため、2018年のみでの分析です。

回答人数7494名中、体がだるいが60.2%(4508名)、目が疲れる43.8%(3282名)、腰痛41.0%(3075名)、いつも眠い37.7%、頭痛35.0%、イライラする33.5%、ゆううつな気分がする30.7%となっている。身体的のみならず精神的な症状を訴える人も多い状況である。

問 23 あなたの疲れの回復具合は

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	疲れを感じない	29	0.5%	71	0.9%
2	翌日には回復	1,304	21.2%	1,651	22.0%
3	翌日に残ることが多い	2,799	45.6%	3,481	46.5%
4	休日でも回復せずいつも疲れている	1,727	28.1%	2,008	26.8%
	無回答	278	4.5%	283	3.8%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

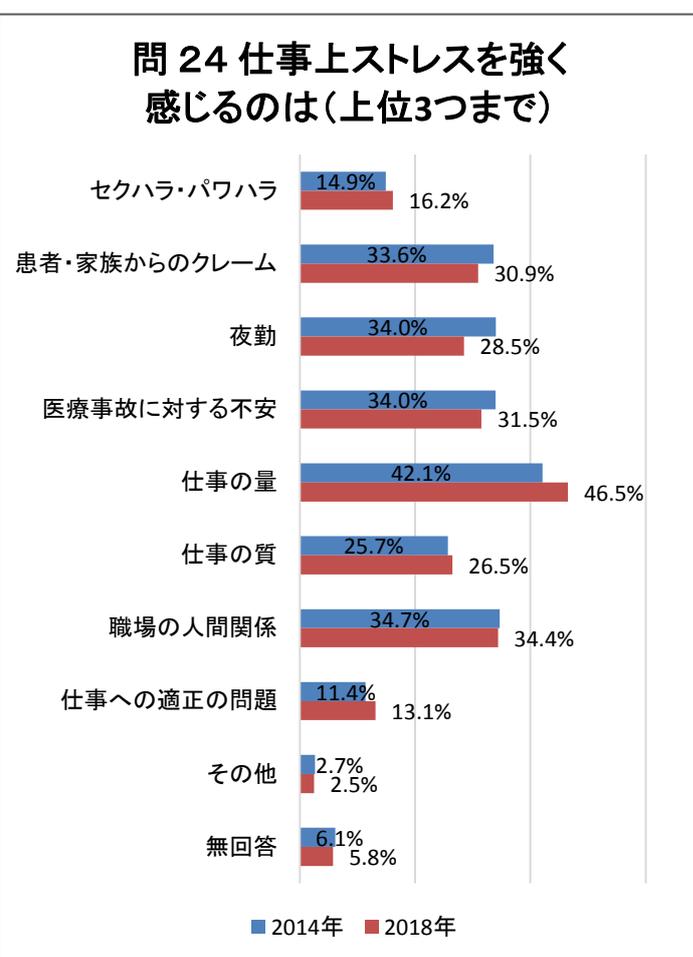
2014年は、翌日に残ることが多い45.6%、休日でも回復せずいつも疲れている28.1%。
 2018年も同様に翌日に残ることが多い46.5%、休日でも回復せずいつも疲れている26.8%となっている。
 疲れの回復具合からみても、かなり身体的・精神的に苛酷な労働実態の結果となっている。



問 24 仕事上ストレスを強く感じるのは(上位3つまで)

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	セクハラ・パワハラ	916	14.9%	1,211	16.2%
2	患者・家族からのクレーム	2,064	33.6%	2,319	30.9%
3	夜勤	2,087	34.0%	2,133	28.5%
4	医療事故に対する不安	2,084	34.0%	2,362	31.5%
5	仕事の量	2,584	42.1%	3,484	46.5%
6	仕事の質	1,576	25.7%	1,984	26.5%
7	職場の人間関係	2,127	34.7%	2,578	34.4%
8	仕事への適正の問題	699	11.4%	985	13.1%
9	その他	163	2.7%	187	2.5%
	無回答	377	6.1%	433	5.8%
	回答人数(無回答者含む)	6,137		7,494	

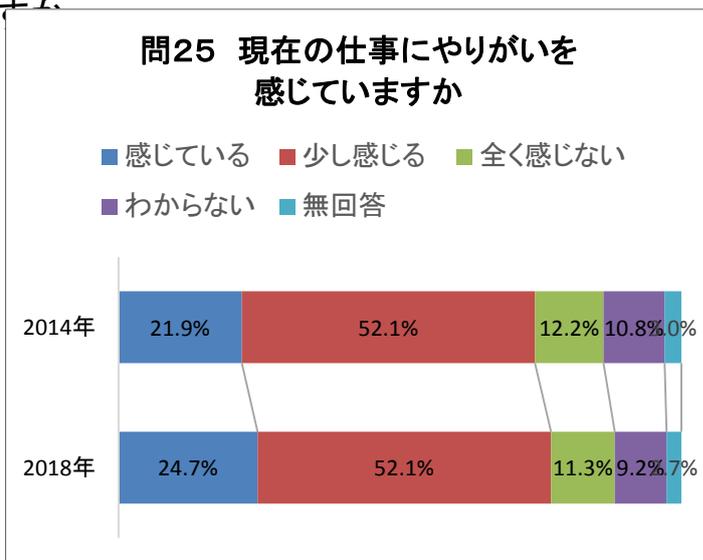
2014年より減っている項目の多い中で、仕事の量は、4.4%の増の46.5%と約半数近い人がストレスを強く感じると回答している。
 続いて職場の人間関係34.4%、医療事故に対する不安31.5%、患者・家族からのクレームと続く。



問 25 現在の仕事にやりがいを感じていますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	感じている	1,344	21.9%	1,850	24.7%
2	少し感じる	3,195	52.1%	3,908	52.1%
3	全く感じない	749	12.2%	849	11.3%
4	わからない	664	10.8%	687	9.2%
	無回答	185	3.0%	200	2.7%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

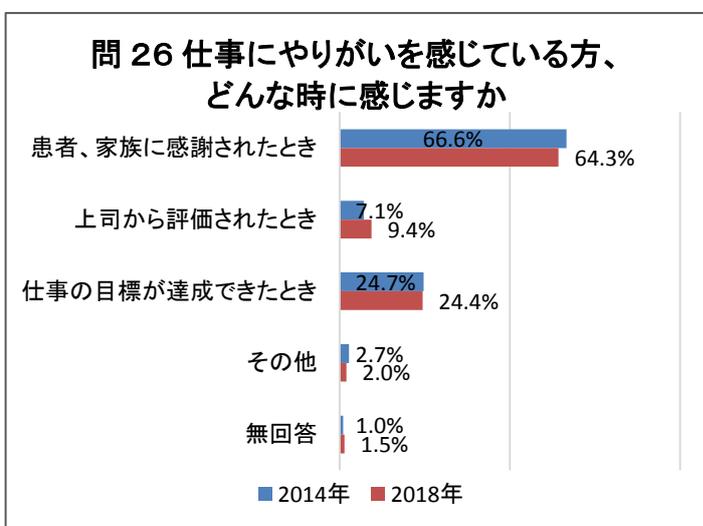
2014年の感じている21.9%、少し感じる52.1%、2018年では感じている24.7%、少し感じる52.1%と、4年前同様に75%くらいの方がやりがいを感じていると答えています。



問 26 仕事にやりがいを感じている方、どんな時に感じますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	患者、家族に感謝されたとき	3,024	66.6%	3,704	64.3%
2	上司から評価されたとき	324	7.1%	539	9.4%
3	仕事の目標が達成できたとき	1,122	24.7%	1,405	24.4%
4	その他	123	2.7%	113	2.0%
	無回答	46	1.0%	84	1.5%
	回答人数(無回答者含む)	4,539	100.0%	5,758	100.0%

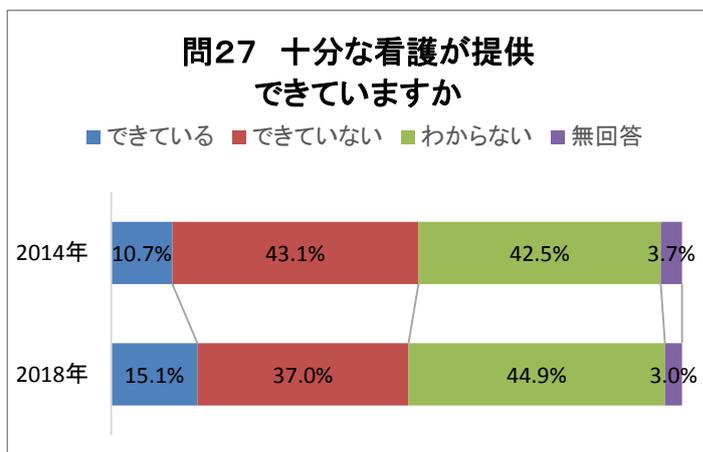
患者・家族に感謝されたときが、2014年66.3%、2018年64.3%と断トツに多い結果となっています。続いて、仕事の目標が達成できたが2014年24.7%、2018年24.4%です。上司から評価されたは、2014年7.1%、2018年9.4%と少ない結果となっています。



問 27 十分な看護が提供できていますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	できている	658	10.7%	1,134	15.1%
2	できていない	2,646	43.1%	2,770	37.0%
3	わからない	2,607	42.5%	3,368	44.9%
	無回答	226	3.7%	222	3.0%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

2014年に比べて、できているが4.4%増の15.1%。できていないが6.1%減の37.0%となっている。ただ、わからないが44.9%あり仕事に対する自信が持てない状況があらわれている。



問 27② 十分な看護が提供できない主な理由は(上位3つまで)

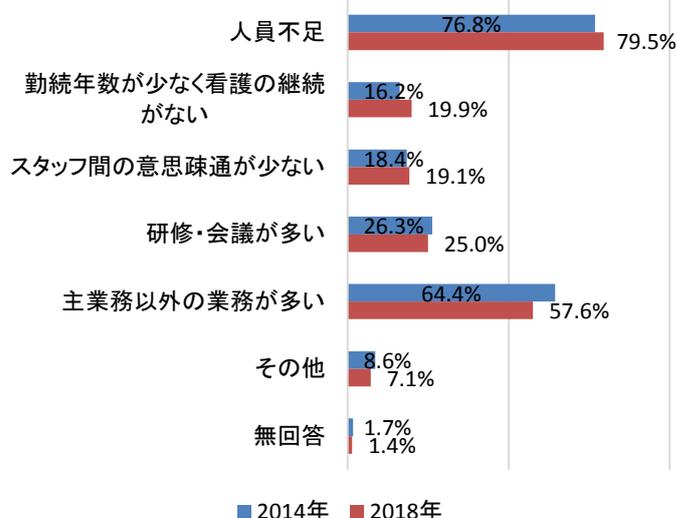
No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	人員不足	2,032	76.8%	2,203	79.5%
2	勤続年数が少なく看護の継続がない	428	16.2%	550	19.9%
3	スタッフ間の意思疎通が少ない	486	18.4%	530	19.1%
4	研修・会議が多い	695	26.3%	692	25.0%
5	主業務以外の業務が多い	1,705	64.4%	1,595	57.6%
6	その他	228	8.6%	198	7.1%
	無回答	46	1.7%	39	1.4%
	回答人数(無回答者含む)	2,646		2,770	

2014年、2018年ともに、理由の1番にあげたのが人員不足で、2014年76.8%、2018年では79.5%の人が答えています。

続いて、主業務以外の業務が多い、研修・会議が多いとなっています。

人員が不足している中で、主業務でない業務や研修・会議の多さのため、十分な看護が提供できない状況があらわれています。

問 27② 十分な看護が提供できない 主な理由は(上位3つまで)



問 28 あなたは仕事を辞めたいと思いますか

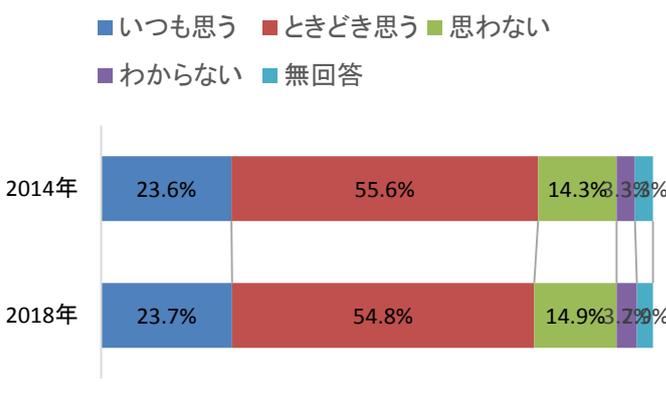
No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	いつも思う	1,448	23.6%	1,777	23.7%
2	ときどき思う	3,410	55.6%	4,104	54.8%
3	思わない	875	14.3%	1,116	14.9%
4	わからない	203	3.3%	279	3.7%
	無回答	201	3.3%	218	2.9%
	合計	6,137	100.0%	7,494	100.0%

2014年では、いつも思う23.6%、ときどき思う55.6%、合わせると、辞めたいと思うが79.2%。

2018年でも、いつも思う23.7%、ときどき思う54.8%、合わせると78.5%のひとが、辞めたいと思うと答えています。

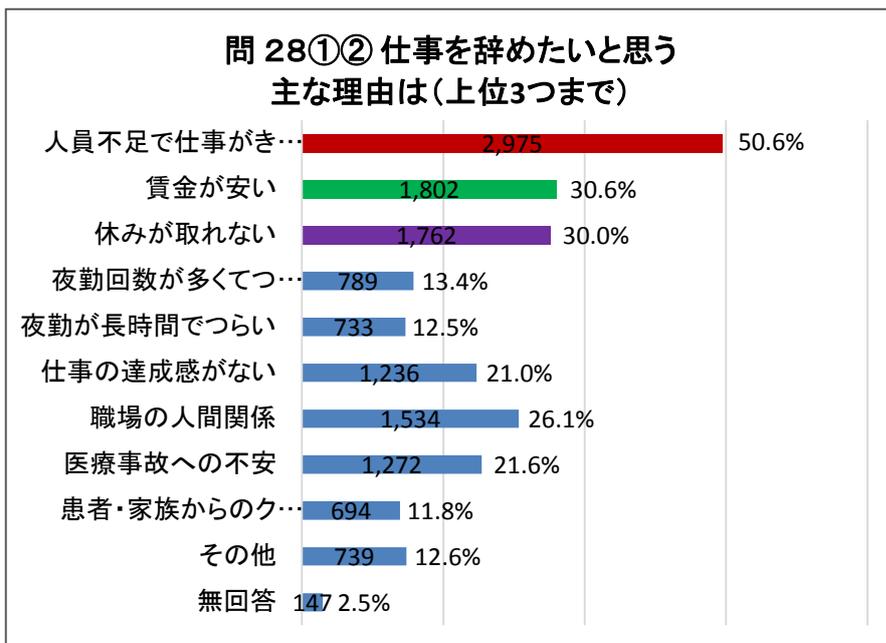
ほぼ80%近い人が辞めたいと思いながら仕事をしているという状況があります。

問28 あなたは仕事を辞めたいと 思いますか



問 28①② 仕事を辞めたいと思う主な理由は(上位3つまで)

No.	カテゴリ	件数	2018年
1	人員不足で仕事がつい	2,975	50.6%
2	賃金が安い	1,802	30.6%
3	休みが取れない	1,762	30.0%
4	夜勤回数が多くてつらい	789	13.4%
5	夜勤が長時間でつらい	733	12.5%
6	仕事の達成感がない	1,236	21.0%
7	職場の人間関係	1,534	26.1%
8	医療事故への不安	1,272	21.6%
9	患者・家族からのクレーム	694	11.8%
10	その他	739	12.6%
	無回答	147	2.5%
	回答人数(無回答者含む)	5,881	



2014年と若干設問項目が異なるため、2018年のみでの分析です。

辞めたいと思うと答えてくれた5881名中、断トツなのが

人員不足で仕事がつい50.6%(2975名)と半数以上の方が答えています。

続いて、賃金が安い30.6%、休みが取れない30.0%、職場の人間関係26.1%、医療事故への不安21.6%、仕事の達成感がない21.0%と続きます。

「人員不足の解消」、「賃金引上げ」、「有給休暇の取得満足度アップ」。この3点の改善要求の実現が、働き続けられる職場づくりに、強く求められています。

問 29 組合に加入していますか

No.	カテゴリ	2014年	2014年	2018年	2018年
1	加入している	4,722	76.9	5,917	79.0
2	組合はあるが加入していない	989	16.1	1,088	14.5
3	組合はない	82	1.3	82	1.1
4	組合はないが加入したい	7	0.1	6	0.1
5	わからない	76	1.2	115	1.5
	無回答	261	4.3	286	3.8
	合計	6,137	100	7,494	100.0

